

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2012年8月27日から2027年5月17日までです。	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券を中心に、他、転換社債（C/B）等に実質的に投資を行い、投資信託財産の安定した収益の確保と着実な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）</li> <li>・シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドアジアCB（Cクラス（米ドル建て））</li> </ul> ※実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。
	為替ヘッジなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）</li> <li>・シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドアジアCB（Cクラス（米ドル建て））</li> </ul> ※実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
	アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）／アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド（適格機関投資家専用）の受益証券への投資を通じて、アジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とします。
	シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドアジアCB（Cクラス（米ドル建て））	アジア（除く日本）企業が発行する転換社債またはその他証券（転換優先株、他社株転換可能債券など）を主要投資対象とします。
投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。株式への直接投資は行いません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。	
分配方針	毎月17日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

## 運用報告書（全体版）

### アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型） （為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）

第124期（決算日 2022年12月19日） 第127期（決算日 2023年3月17日）  
 第125期（決算日 2023年1月17日） 第128期（決算日 2023年4月17日）  
 第126期（決算日 2023年2月17日） 第129期（決算日 2023年5月17日）

#### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
 皆様の「アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型）（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）」は、2023年5月17日に第129期決算を迎えましたので、過去6ヵ月間（第124期～第129期）の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。  
 今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社投信営業部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

お取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

※岡三アセットマネジメント株式会社は2023年7月1日をもってSBI岡三アセットマネジメント株式会社へ商号を変更いたします。  
 新ホームページアドレスは<https://www.sbiokasan-am.co.jp>です。

## 【為替ヘッジあり】

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て]		アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用) 組入比率	クレディ・スイス・アジアCBファンド (円ヘッジクラス) 組入比率	シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンド-アジアCB (Cクラス) (米ドル建て) 組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
100期(2020年12月17日)	円 7,195	円 40	% 1.5	ポイント 310.520	% 2.5	% 86.5	% 12.5	% —	百万円 1,096
101期(2021年1月18日)	7,199	40	0.6	311.811	0.4	85.4	12.8	—	1,102
102期(2021年2月17日)	7,224	40	0.9	313.646	0.6	84.1	12.9	—	1,105
103期(2021年3月17日)	7,146	40	△0.5	314.664	0.3	86.7	12.0	—	1,069
104期(2021年4月19日)	7,140	40	0.5	313.351	△ 0.4	86.0	12.3	—	1,075
105期(2021年5月17日)	7,067	40	△0.5	317.817	1.4	86.7	12.1	—	1,061
106期(2021年6月17日)	7,044	40	0.2	316.060	△ 0.6	85.6	12.5	—	1,048
107期(2021年7月19日)	7,015	40	0.2	315.783	△ 0.1	86.0	12.9	—	1,037
108期(2021年8月17日)	6,884	40	△1.3	308.193	△ 2.4	85.1	11.6	—	998
109期(2021年9月17日)	6,781	40	△0.9	298.979	△ 3.0	85.5	11.6	—	982
110期(2021年10月18日)	6,338	40	△5.9	275.828	△ 7.7	86.0	7.4	4.8	906
111期(2021年11月17日)	6,243	40	△0.9	275.385	△ 0.2	86.6	—	10.5	881
112期(2021年12月17日)	6,178	40	△0.4	272.254	△ 1.1	82.8	—	9.8	916
113期(2022年1月17日)	5,908	40	△3.7	254.125	△ 6.7	85.1	—	11.3	885
114期(2022年2月17日)	5,861	40	△0.1	254.927	0.3	85.9	—	11.4	880
115期(2022年3月17日)	5,282	20	△9.5	221.637	△13.1	84.7	—	12.3	822
116期(2022年4月18日)	5,676	20	7.8	242.157	9.3	85.8	—	11.9	874
117期(2022年5月17日)	5,506	20	△2.6	234.086	△ 3.3	85.8	—	11.5	845
118期(2022年6月17日)	5,401	20	△1.5	228.567	△ 2.4	85.8	—	11.3	804
119期(2022年7月19日)	5,028	20	△6.5	208.408	△ 8.8	84.7	—	11.8	774
120期(2022年8月17日)	5,119	20	2.2	217.235	4.2	86.2	—	11.5	762
121期(2022年9月20日)	5,133	20	0.7	218.966	0.8	85.4	—	11.7	789
122期(2022年10月17日)	4,846	20	△5.2	200.938	△ 8.2	84.9	—	11.6	758
123期(2022年11月17日)	4,827	20	0.0	206.495	2.8	85.8	—	11.0	770
124期(2022年12月19日)	5,077	20	5.6	230.571	11.7	86.8	—	10.4	815
125期(2023年1月17日)	5,255	20	3.9	246.087	6.7	88.6	—	10.7	825
126期(2023年2月17日)	5,220	20	△0.3	247.500	0.6	86.6	—	11.1	826
127期(2023年3月17日)	5,093	20	△2.0	242.916	△ 1.9	85.7	—	11.2	801
128期(2023年4月17日)	5,082	20	0.2	242.199	△ 0.3	85.8	—	11.7	795
129期(2023年5月17日)	4,846	20	△4.3	231.299	△ 4.5	85.4	—	12.5	741

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て]は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て]は、当該日前営業日の現地終値です。

(注) 「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)」、「クレディ・スイス・アジアCBファンド (円ヘッジクラス) (2021年10月21日まで)」、「シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンド-アジアCB (Cクラス (米ドル建て)) (2021年10月18日より)」の組入比率は、当ファンドの純資産総額に対する比率です。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準価額		J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て]		アジア・ハイ・イールド 債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用) 組入比率		シュローダー・ インターナショナル・ セレクション・ ファンドーアジアCB (Cクラス[米ドル建て]) 組入比率	
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率				
第124期	(期首) 2022年11月17日	円 4,827	% —	ポイント 206.495	% —	% 85.8	% 11.0		
	11月末	4,946	2.5	216.972	5.1	86.7	10.6		
	(期末) 2022年12月19日	5,097	5.6	230.571	11.7	86.8	10.4		
第125期	(期首) 2022年12月19日	5,077	—	230.571	—	86.8	10.4		
	12月末	5,090	0.3	233.196	1.1	86.6	10.1		
	(期末) 2023年1月17日	5,275	3.9	246.087	6.7	88.6	10.7		
第126期	(期首) 2023年1月17日	5,255	—	246.087	—	88.6	10.7		
	1月末	5,291	0.7	250.133	1.6	86.4	10.7		
	(期末) 2023年2月17日	5,240	△0.3	247.500	0.6	86.6	11.1		
第127期	(期首) 2023年2月17日	5,220	—	247.500	—	86.6	11.1		
	2月末	5,180	△0.8	245.452	△0.8	86.8	11.2		
	(期末) 2023年3月17日	5,113	△2.0	242.916	△1.9	85.7	11.2		
第128期	(期首) 2023年3月17日	5,093	—	242.916	—	85.7	11.2		
	3月末	5,051	△0.8	239.666	△1.3	85.8	11.6		
	(期末) 2023年4月17日	5,102	0.2	242.199	△0.3	85.8	11.7		
第129期	(期首) 2023年4月17日	5,082	—	242.199	—	85.8	11.7		
	4月末	5,010	△1.4	238.066	△1.7	85.8	11.8		
	(期末) 2023年5月17日	4,866	△4.3	231.299	△4.5	85.4	12.5		

(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

【為替ヘッジなし】

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index (円換算後)		アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) 組入比率	クレディ・スイス・アジアCBファンド (ヘッジなしクラス) 組入比率	シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド-アジアCB (Cクラス (米ドル建て)) 組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
100期(2020年12月17日)	円 7,155	円 40	% 0.6	ポイント 32,120.22	% 1.5	% 86.7	% 12.5	% —	百万円 13,399
101期(2021年1月18日)	7,191	40	1.1	32,375.36	0.8	86.2	12.8	—	13,372
102期(2021年2月17日)	7,376	40	3.1	33,299.79	2.9	85.7	12.4	—	13,583
103期(2021年3月17日)	7,501	40	2.2	34,342.37	3.1	87.2	12.0	—	13,597
104期(2021年4月19日)	7,472	40	0.1	34,048.68	△ 0.9	86.3	12.3	—	13,220
105期(2021年5月17日)	7,453	40	0.3	34,785.10	2.2	87.0	12.2	—	13,057
106期(2021年6月17日)	7,515	40	1.4	35,016.29	0.7	86.6	12.7	—	12,902
107期(2021年7月19日)	7,432	40	△ 0.6	34,698.28	△ 0.9	86.0	12.7	—	12,484
108期(2021年8月17日)	7,249	40	△ 1.9	33,663.97	△ 3.0	85.3	12.3	—	12,104
109期(2021年9月17日)	7,181	40	△ 0.4	32,830.84	△ 2.5	85.3	12.5	—	11,806
110期(2021年10月18日)	6,995	40	△ 2.0	31,518.83	△ 4.0	86.0	8.3	5.0	11,328
111期(2021年11月17日)	6,934	40	△ 0.3	31,633.44	0.4	86.3	—	10.4	11,006
112期(2021年12月17日)	6,805	40	△ 1.3	31,001.61	△ 2.0	86.4	—	10.4	10,681
113期(2022年1月17日)	6,541	40	△ 3.3	29,056.68	△ 6.3	85.6	—	11.4	10,192
114期(2022年2月17日)	6,559	40	0.9	29,438.96	1.3	86.5	—	11.5	10,076
115期(2022年3月17日)	6,094	20	△ 6.8	26,372.53	△ 10.4	85.7	—	11.8	9,114
116期(2022年4月18日)	6,945	20	14.3	30,676.39	16.3	86.0	—	11.5	10,240
117期(2022年5月17日)	6,893	20	△ 0.5	30,265.02	△ 1.3	86.4	—	11.6	9,702
118期(2022年6月17日)	6,968	20	1.4	30,451.93	0.6	86.3	—	11.5	9,558
119期(2022年7月19日)	6,755	20	△ 2.8	28,812.45	△ 5.4	85.2	—	11.6	9,272
120期(2022年8月17日)	6,711	20	△ 0.4	29,176.87	1.3	85.7	—	11.2	9,263
121期(2022年9月20日)	7,185	20	7.4	31,373.49	7.5	85.9	—	11.4	10,041
122期(2022年10月17日)	7,055	20	△ 1.5	29,861.35	△ 4.8	85.2	—	11.4	9,775
123期(2022年11月17日)	6,669	20	△ 5.2	28,810.20	△ 3.5	85.8	—	11.4	9,371
124期(2022年12月19日)	6,918	20	4.0	31,408.37	9.0	86.5	—	11.3	9,512
125期(2023年1月17日)	6,811	20	△ 1.3	31,612.32	0.6	86.2	—	11.3	9,269
126期(2023年2月17日)	7,108	20	4.7	33,264.01	5.2	86.7	—	11.4	9,540
127期(2023年3月17日)	6,924	20	△ 2.3	32,438.94	△ 2.5	86.1	—	11.6	9,211
128期(2023年4月17日)	6,963	20	0.9	32,427.98	△ 0.0	85.4	—	12.0	9,210
129期(2023年5月17日)	6,812	20	△ 1.9	31,569.95	△ 2.6	85.6	—	12.1	8,876

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後]は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後]は、当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて岡三アセットマネジメントが算出しています。

(注) 「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)」、「クレディ・スイス・アジアCBファンド (ヘッジなしクラス) (2021年10月21日まで)」、「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド-アジアCB (Cクラス (米ドル建て)) (2021年10月18日より)」の組入比率は、当ファンドの純資産総額に対する比率です。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後]		アジア・ハイ・イールド 債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) 組 入 比 率	シュローダー・ インターナショナル・ セレクション・ ファンドーアジアCB (Cクラス(米ドル建て)) 組 入 比 率
		騰落率	(参考指数)	騰落率			
第124期	(期 首) 2022年11月17日	円 6,669	% —	ポイント 28,810.20	% —	% 85.8	% 11.4
	11月末	6,821	2.3	30,130.96	4.6	86.3	11.2
	(期 末) 2022年12月19日	6,938	4.0	31,408.37	9.0	86.5	11.3
第125期	(期 首) 2022年12月19日	6,918	—	31,408.37	—	86.5	11.3
	12月末	6,771	△2.1	30,945.07	△1.5	86.7	11.3
	(期 末) 2023年1月17日	6,831	△1.3	31,612.32	0.6	86.2	11.3
第126期	(期 首) 2023年1月17日	6,811	—	31,612.32	—	86.2	11.3
	1月末	6,977	2.4	32,634.85	3.2	86.7	11.3
	(期 末) 2023年2月17日	7,128	4.7	33,264.01	5.2	86.7	11.4
第127期	(期 首) 2023年2月17日	7,108	—	33,264.01	—	86.7	11.4
	2月末	7,161	0.7	33,462.50	0.6	86.4	11.4
	(期 末) 2023年3月17日	6,944	△2.3	32,438.94	△2.5	86.1	11.6
第128期	(期 首) 2023年3月17日	6,924	—	32,438.94	—	86.1	11.6
	3月末	6,876	△0.7	32,002.56	△1.3	85.7	12.0
	(期 末) 2023年4月17日	6,983	0.9	32,427.98	△0.0	85.4	12.0
第129期	(期 首) 2023年4月17日	6,963	—	32,427.98	—	85.4	12.0
	4月末	6,889	△1.1	31,931.74	△1.5	85.9	11.7
	(期 末) 2023年5月17日	6,832	△1.9	31,569.95	△2.6	85.6	12.1

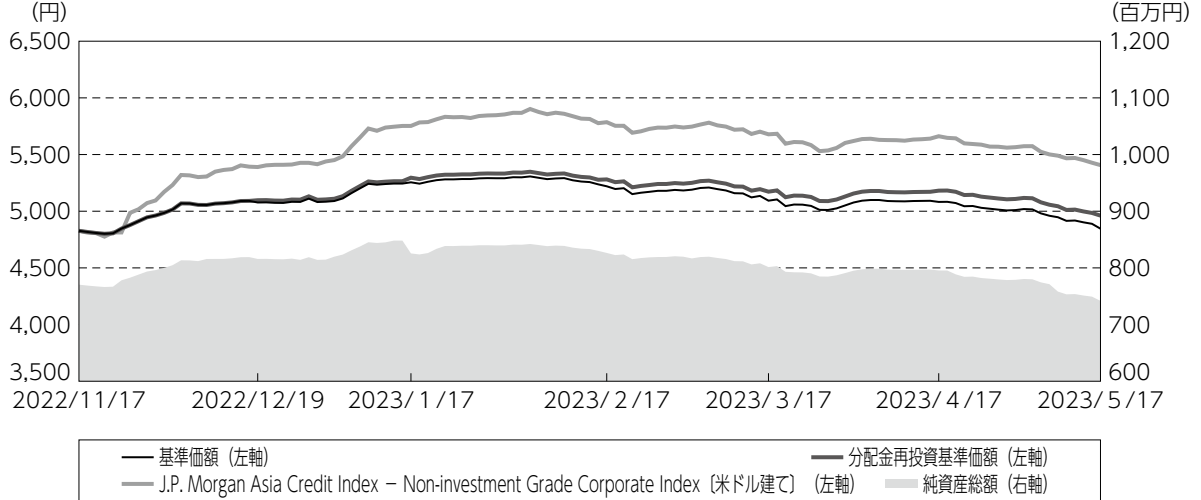
(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

## 運用経過

### 作成期間中の基準価額等の推移

（2022年11月18日～2023年5月17日）

【為替ヘッジあり】



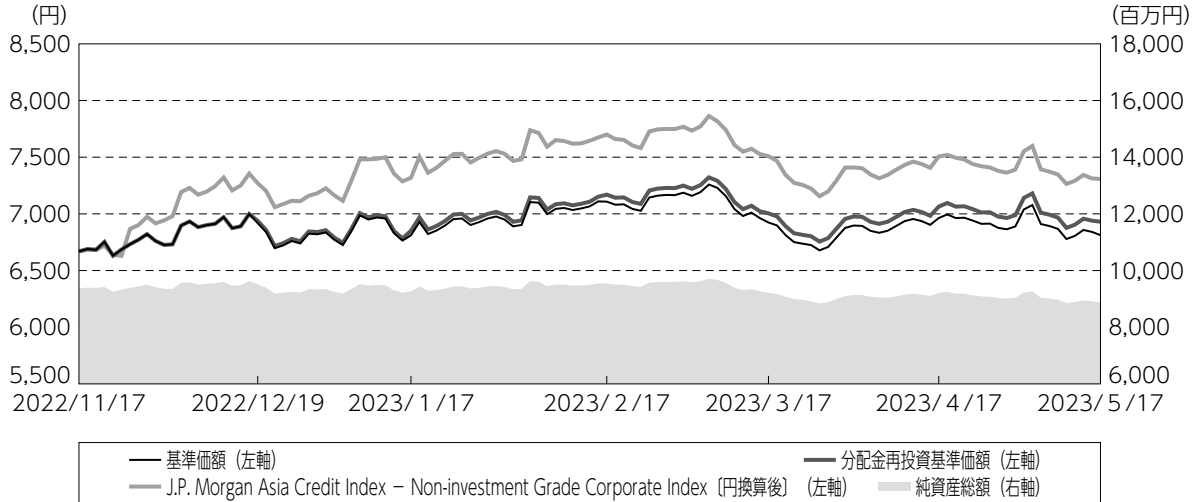
第124期首：4,827円

第129期末：4,846円（既払分配金（税引前）：120円）

騰落率：2.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て] です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首（2022年11月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

【為替ヘッジなし】



第124期首：6,669円

第129期末：6,812円（既払分配金（税引前）：120円）

騰落率：3.9%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後] です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首（2022年11月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

＜アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型）（為替ヘッジあり）＞

当ファンドの主要投資対象ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）
  - ・投資対象とした「G I Mアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド（適格機関投資家専用）」（マザーファンド）において、保有債券の利回りが低下し債券価格が上昇したこと、保有債券からの利息収入がプラス要因となりました。
- シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB（Cクラス（米ドル建て））
  - ・金融、一般消費財・サービスセクターが堅調に推移し、銘柄別ではLENOVO GROUP、SHANDONG WEIGAO GROUPなどの組入れがプラス要因となりました。

（主なマイナス要因）

- アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）
  - ・対円でのドル売りヘッジコストがマイナス要因となりました。
- シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB（Cクラス（米ドル建て））
  - ・不動産、素材セクターが軟調に推移し、銘柄別ではNO VA LAND、BHARTI AIRTELなどの組入れがマイナス要因となりました。

＜アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型）（為替ヘッジなし）＞

当ファンドの主要投資対象ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）
  - ・投資対象とした「G I Mアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド（適格機関投資家専用）」（マザーファンド）において、保有債券の利回りが低下し債券価格が上昇したこと、保有債券からの利息収入がプラス要因となりました。
- シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB（Cクラス（米ドル建て））
  - ・金融、一般消費財・サービスセクターが堅調に推移し、銘柄別ではLENOVO GROUP、SHANDONG WEIGAO GROUPなどの組入れがプラス要因となりました。

（主なマイナス要因）

- アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）
  - ・為替市場で米ドルが対円で下落したことがマイナス要因となりました。
- シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB（Cクラス（米ドル建て））
  - ・不動産、素材セクターが軟調に推移し、銘柄別ではNO VA LAND、BHARTI AIRTELなどの組入れがマイナス要因となりました。



**投資環境**

（2022年11月18日～2023年5月17日）

当作成期のアジア ハイ・イールド債券市場は上昇しました。作成期首から2023年2月初めにかけては上昇基調で推移しました。米国の利上げを巡る思惑が市場の変動要因となる中、中国における想定よりも早いゼロコロナ政策や不動産規制の緩和、経済活動の顕著な回復や生産活動の正常化が背景でした。その後は、堅調な米経済指標を背景に米国の債券利回りが上昇したことや、米国の地方銀行や欧州銀行を巡る懸念の広がりなどから投資家心理が悪化しました。中国では1-3月期国内総生産（GDP）が予想を上回り、パンデミック以降の力強い経済回復が確認されたものの、ハイ・イールド債券市場では不動産開発企業の不調を背景にセンチメントが後退しました。このような環境下、アジア・ハイ・イールド債券市場は作成期末にかけて下落基調で推移しました。

アジアCB市場は上昇しました。作成期首から2023年1月末までは米国で期待インフレ率が低下し、中国でゼロコロナ政策の解除に伴い景気回復への期待が高まったことによる株式市場の上昇にあわせて堅調に推移しました。その後は米国で利上げが継続されるとの観測を嫌気して軟調な展開となりました。3月には米銀の経営危機によりリスク回避姿勢が高まったものの、金融当局の迅速な対応により金融システムへの懸念が和らぎ安定感を取り戻しました。その後、中国不動産業の低迷を受けて軟調な展開となりましたが、作成期を通せば上昇しました。このような中、アジアCB市場については、通信セクターが軟調に推移したものの、情報技術、ヘルスケアセクターが比較的堅調に推移しました。

為替市場では、米国のインフレ動向、米連邦準備制度理事会（FRB）や日本銀行の金融政策やそれに対する思惑、米国の地銀不安、日本の賃上げ動向に左右される展開となり、作成期末は作成期初と比べて米ドル安水準で終わりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（2022年11月18日～2023年5月17日）

### <アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型）（為替ヘッジあり）>

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」および「シュロージャー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB（Cクラス（米ドル建て））」を投資対象ファンドとし、両ファンド合計の組入比率を高位に維持しました。なお、「シュロージャー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB（Cクラス（米ドル建て））」については、実質組入外貨建資産に対し、当ファンドにて為替ヘッジを行いました。

### ○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として、様々な業種への分散投資を図りながら運用を行いました。また、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。当作成期においては、国別では中国、業種別では金融への投資比率を高め

### ○シュロージャー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB（Cクラス（米ドル建て））

日本を除くアジア企業が発行する転換社債またはその他証券（転換優先株、他社株転換可能債券など）に投資を行い、信託財産の着実な成長を目的として運用を行いました。また、外貨建資産への投資については、為替ヘッジを行いませんでした。当作成期におきましては、セクター別では一般消費財・サービス、コミュニケーション・サービス、情報技術セクターの組入比率を高位とし、国別では中国、香港、韓国を中心とした組入れとしました。

### <アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型）（為替ヘッジなし）>

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」および「シュロージャー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB（Cクラス（米ドル建て））」を投資対象ファンドとし、両ファンド合計の組入比率を高位に維持しました。

### ○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として、様々な業種への分散投資を図りながら運用を行いました。また、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いませんでした。当作成期においては、国別では中国、業種別では金融への投資比率を高め

### ○シュロージャー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB（Cクラス（米ドル建て））

前述をご参照ください。

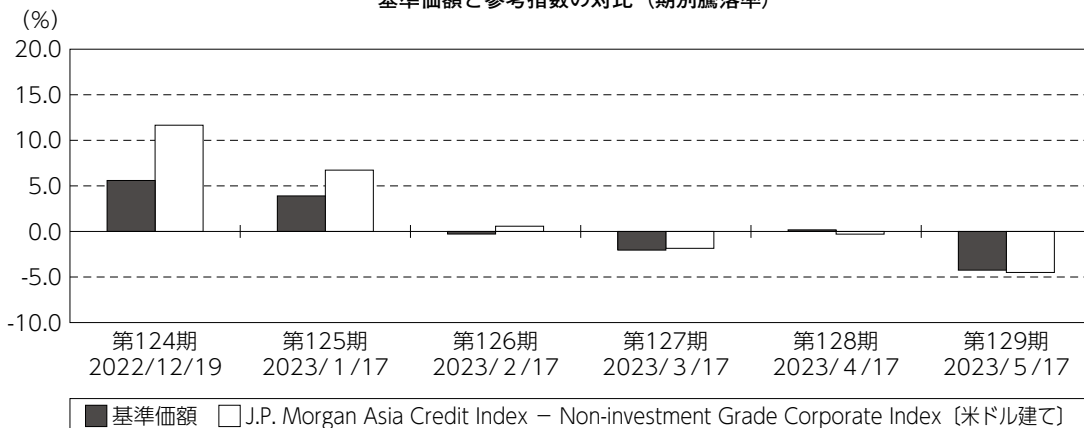
当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年11月18日～2023年5月17日)

【為替ヘッジあり】

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、当作成期間における分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数である「J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て]」を9.2%下回りました。

基準価額と参考指数の対比 (期別騰落率)



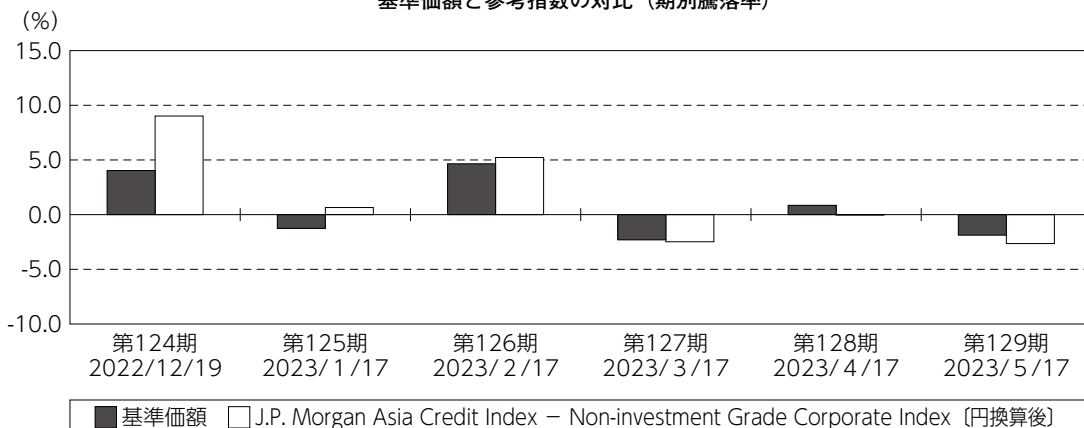
(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税引前) 込みです。

(注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て] です。

【為替ヘッジなし】

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、当作成期間における分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数である「J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後]」を5.7%下回りました。

基準価額と参考指数の対比 (期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税引前) 込みです。

(注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後] です。

## 分配金

（2022年11月18日～2023年5月17日）

### <アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型）（為替ヘッジあり）>

当ファンドの分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当作成期間は、每期1万口当たり20円（税引前）、合計120円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第124期	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期
	2022年11月18日～ 2022年12月19日	2022年12月20日～ 2023年1月17日	2023年1月18日～ 2023年2月17日	2023年2月18日～ 2023年3月17日	2023年3月18日～ 2023年4月17日	2023年4月18日～ 2023年5月17日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
(対基準価額比率)	0.392%	0.379%	0.382%	0.391%	0.392%	0.411%
当期の収益	17	20	15	17	18	17
当期の収益以外	2	—	4	2	1	2
翌期繰越分配対象額	344	355	350	348	347	344

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### <アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型）（為替ヘッジなし）>

当ファンドの分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当作成期間は、每期1万口当たり20円（税引前）、合計120円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第124期	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期
	2022年11月18日～ 2022年12月19日	2022年12月20日～ 2023年1月17日	2023年1月18日～ 2023年2月17日	2023年2月18日～ 2023年3月17日	2023年3月18日～ 2023年4月17日	2023年4月18日～ 2023年5月17日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
(対基準価額比率)	0.288%	0.293%	0.281%	0.288%	0.286%	0.293%
当期の収益	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	534	550	556	559	568	572

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### ＜アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型）（為替ヘッジあり）＞

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」と「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB（Cクラス（米ドル建て）」）を投資対象ファンドとし、両ファンド合計の組入比率を高位に保つことを基本とします。なお、「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB（Cクラス（米ドル建て）」）については、実質組入外貨建資産に対し、当ファンドにて為替ヘッジを行います。

### ○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。

### ○シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB（Cクラス（米ドル建て））

日本を除くアジア企業が発行する転換社債またはその他証券（転換優先株、他社株転換可能債券など）に投資を行い、信託財産の着実な成長を目的として運用を行います。なお、外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジは行いません。

### ＜アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型）（為替ヘッジなし）＞

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」と「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB（Cクラス（米ドル建て）」）を投資対象ファンドとし、両ファンド合計の組入比率を高位に保つことを基本とします。

### ○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。

### ○シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB（Cクラス（米ドル建て））

前述をご参照ください。

【為替ヘッジあり】

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年11月18日～2023年5月17日)

項 目	第124期～第129期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	29 (11) (17) ( 1)	0.562 (0.218) (0.327) (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	0 ( 0) ( 0)	0.007 (0.007) (0.000)	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	29	0.569	
作成期間中の平均基準価額は、5,094円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

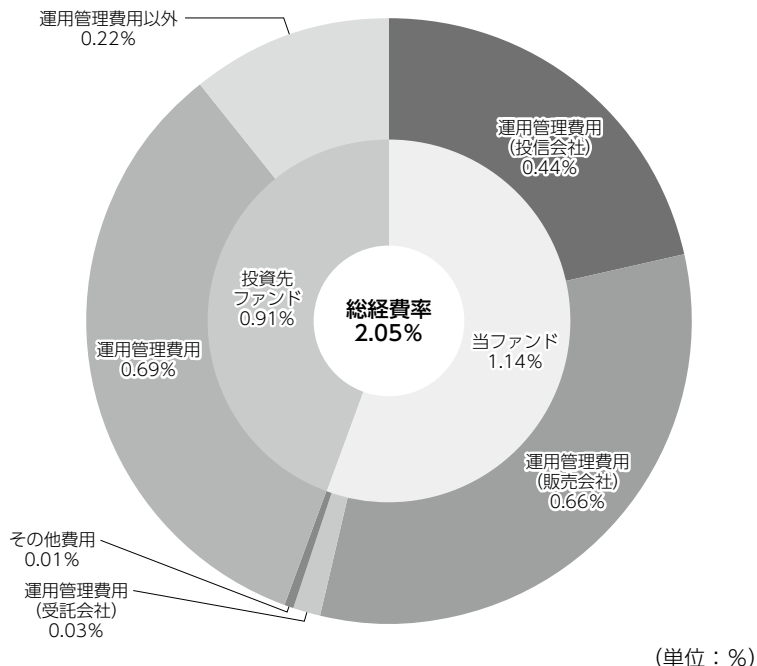
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.05%です。



総経費率 (①+②+③)	2.05
①当ファンドの費用の比率	1.14
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.69
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.22

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2022年11月18日～2023年5月17日）

投資信託証券

銘柄		第 124 期 ～ 第 129 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	アジア・ハイ・イールド債券ファンドF （為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	口 39,579,140	千円 22,000	口 94,275,214	千円 53,000
	合 計	39,579,140	22,000	94,275,214	53,000
外国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	シュローダー・インターナショナル・ セレクション・ファンドーアジアCB （Cクラス（米ドル建て））	251	40	—	—
	小 計	251	40	—	—

（注）金額は受渡代金。

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2022年11月18日～2023年5月17日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2023年5月17日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第 123 期 末	第 129 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
アジア・ハイ・イールド債券ファンドF （為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）		口	口	千円	%
		1,258,068,926	1,203,372,852	633,696	85.4
合 計		1,258,068,926	1,203,372,852	633,696	85.4

（注）比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。



ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘柄	第 123 期 末	第 129 期 末		比 率	
	口 数	口 数	評 価 額		
			外 貨 建 金 額		邦 貨 換 算 金 額
(アメリカ) シュローダー・インターナショナル・ セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス(米ドル建て))	4,016	4,267	千米ドル 680	千円 92,874	% 12.5
合 計	4,016	4,267	680	92,874	12.5

(注) 邦貨換算金額は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年5月17日現在)

項 目	第 129 期 末	比 率
	評 価 額	
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 633,696	% 84.7
投 資 証 券	92,874	12.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	21,469	2.9
投 資 信 託 財 産 総 額	748,039	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 作成期間末における外貨建純資産（92,874千円）の投資信託財産総額（748,039千円）に対する比率は12.4%です。

(注) 外貨建資産は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=136.49円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第124期末	第125期末	第126期末	第127期末	第128期末	第129期末
	2022年12月19日現在	2023年1月17日現在	2023年2月17日現在	2023年3月17日現在	2023年4月17日現在	2023年5月17日現在
	円	円	円	円	円	円
<b>(A) 資産</b>	<b>900,994,683</b>	<b>936,379,360</b>	<b>918,189,852</b>	<b>890,670,865</b>	<b>887,402,410</b>	<b>834,397,323</b>
コール・ローン等	27,713,581	31,255,731	25,787,999	27,075,702	24,228,752	21,469,329
投資信託受益証券(評価額)	707,895,858	731,569,841	715,877,103	686,921,509	682,859,070	633,696,143
投資証券(評価額)	84,913,104	88,418,224	91,592,071	89,556,822	92,749,587	92,874,497
未収入金	80,472,140	85,135,564	84,932,679	87,116,832	87,565,001	86,357,354
<b>(B) 負債</b>	<b>85,208,099</b>	<b>110,866,446</b>	<b>91,793,336</b>	<b>89,251,486</b>	<b>91,920,604</b>	<b>92,580,395</b>
未払金	80,229,609	82,664,873	86,784,307	85,384,780	87,737,259	87,928,270
未払収益分配金	3,213,725	3,142,011	3,165,975	3,147,429	3,130,645	3,061,688
未払解約金	965,390	24,305,669	1,028,281	16	280,676	862,099
未払信託報酬	790,081	745,095	805,309	710,900	763,056	719,856
未払利息	36	37	17	27	24	26
その他未払費用	9,258	8,761	9,447	8,334	8,944	8,456
<b>(C) 純資産総額(A－B)</b>	<b>815,786,584</b>	<b>825,512,914</b>	<b>826,396,516</b>	<b>801,419,379</b>	<b>795,481,806</b>	<b>741,816,928</b>
元本	1,606,862,544	1,571,005,532	1,582,987,723	1,573,714,983	1,565,322,902	1,530,844,025
次期繰越損益金	△ 791,075,960	△ 745,492,618	△ 756,591,207	△ 772,295,604	△ 769,841,096	△ 789,027,097
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,606,862,544口</b>	<b>1,571,005,532口</b>	<b>1,582,987,723口</b>	<b>1,573,714,983口</b>	<b>1,565,322,902口</b>	<b>1,530,844,025口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	<b>5,077円</b>	<b>5,255円</b>	<b>5,220円</b>	<b>5,093円</b>	<b>5,082円</b>	<b>4,846円</b>

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第124期791,075,960円、第125期745,492,618円、第126期756,591,207円、第127期772,295,604円、第128期769,841,096円、第129期789,027,097円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、第124期0.5077円、第125期0.5255円、第126期0.5220円、第127期0.5093円、第128期0.5082円、第129期0.4846円です。

(注) 当ファンドの第124期首元本額は1,595,996,845円、第124～129期中追加設定元本額は73,390,221円、第124～129期中一部解約元本額は138,543,041円です。

○損益の状況

項 目	第124期	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期
	2022年11月18日～ 2022年12月19日	2022年12月20日～ 2023年1月17日	2023年1月18日～ 2023年2月17日	2023年2月18日～ 2023年3月17日	2023年3月18日～ 2023年4月17日	2023年4月18日～ 2023年5月17日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	2,917,857	4,964,470	3,244,533	3,476,218	3,691,547	3,379,553
受取配当金	2,918,708	4,965,251	3,245,380	3,476,637	3,692,124	3,380,259
受取利息	—	—	9	25	28	—
支払利息	△ 851	△ 781	△ 856	△ 444	△ 605	△ 706
(B) 有価証券売買損益	41,061,587	26,730,156	△ 4,762,150	△ 19,754,949	△ 1,460,901	△ 35,761,314
売買益	47,012,647	32,617,105	4,237,900	3,617,780	4,516,753	2,318,610
売買損	△ 5,951,060	△ 5,886,949	△ 9,000,050	△ 23,372,729	△ 5,977,654	△ 38,079,924
(C) 信託報酬等	△ 799,386	△ 753,904	△ 814,846	△ 719,273	△ 772,067	△ 728,351
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	43,180,058	30,940,722	△ 2,332,463	△ 16,998,004	1,458,579	△ 33,110,112
(E) 前期繰越損益金	△456,285,775	△403,145,843	△368,854,641	△372,146,627	△390,185,860	△383,187,622
(F) 追加信託差損益金	△374,756,518	△370,145,486	△382,238,128	△380,003,544	△377,983,170	△369,667,675
(配当等相当額)	( 33,587,456)	( 33,052,463)	( 33,870,886)	( 33,672,745)	( 33,493,508)	( 32,756,299)
(売買損益相当額)	(△408,343,974)	(△403,197,949)	(△416,109,014)	(△413,676,289)	(△411,476,678)	(△402,423,974)
(G) 計 (D + E + F)	△787,862,235	△742,350,607	△753,425,232	△769,148,175	△766,710,451	△785,965,409
(H) 収益分配金	△ 3,213,725	△ 3,142,011	△ 3,165,975	△ 3,147,429	△ 3,130,645	△ 3,061,688
次期繰越損益金 (G + H)	△791,075,960	△745,492,618	△756,591,207	△772,295,604	△769,841,096	△789,027,097
追加信託差損益金	△374,756,518	△370,145,486	△382,238,128	△380,003,544	△377,983,170	△369,667,675
(配当等相当額)	( 33,587,456)	( 33,052,463)	( 33,870,886)	( 33,672,745)	( 33,493,508)	( 32,756,299)
(売買損益相当額)	(△408,343,974)	(△403,197,949)	(△416,109,014)	(△413,676,289)	(△411,476,678)	(△402,423,974)
分配準備積立金	21,734,187	22,776,751	21,671,658	21,163,259	20,847,098	20,005,659
繰越損益金	△438,053,629	△398,123,883	△396,024,737	△413,455,319	△412,705,024	△439,365,081

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第124期	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期
(a) 配当等収益(費用控除後)	2,864,858円	4,846,409円	2,429,687円	2,756,945円	2,919,480円	2,651,202円
(b) 有価証券等損益額 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	33,587,456円	33,052,463円	33,870,886円	33,672,745円	33,493,508円	32,756,299円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	22,083,054円	21,072,353円	22,407,946円	21,553,743円	21,058,263円	20,416,145円
分配対象収益(a + b + c + d)	58,535,368円	58,971,225円	58,708,519円	57,983,433円	57,471,251円	55,823,646円
分配対象収益(1万口当たり)	364円	375円	370円	368円	367円	364円
分配金額	3,213,725円	3,142,011円	3,165,975円	3,147,429円	3,130,645円	3,061,688円
分配金額(1万口当たり)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

### 用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>資産</b>	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
<b>負債</b>	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
<b>純資産総額(資産－負債)</b>	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
<b>受益権総口数</b>	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

### 用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>配当等収益</b>	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
<b>有価証券売買損益</b>	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
<b>信託報酬等</b>	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
<b>当期損益金</b>	当期における収支合計です。
<b>前期繰越損益金</b>	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
<b>追加信託差損益金</b>	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
<b>計</b>	収益分配前の期中の収支の総合計です。
<b>収益分配金</b>	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
<b>次期繰越損益金</b>	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○分配金のお知らせ

	第124期	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期
1 万口当たり分配金（税引前）	20円	20円	20円	20円	20円	20円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。					
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店					

<お知らせ>

該当事項はございません。

【為替ヘッジなし】

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年11月18日～2023年5月17日)

項 目	第124期～第129期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	39 (15) (23) ( 1)	0.562 (0.218) (0.327) (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	0 ( 0) ( 0)	0.007 (0.007) (0.000)	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	39	0.569	
作成期間中の平均基準価額は、6,915円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

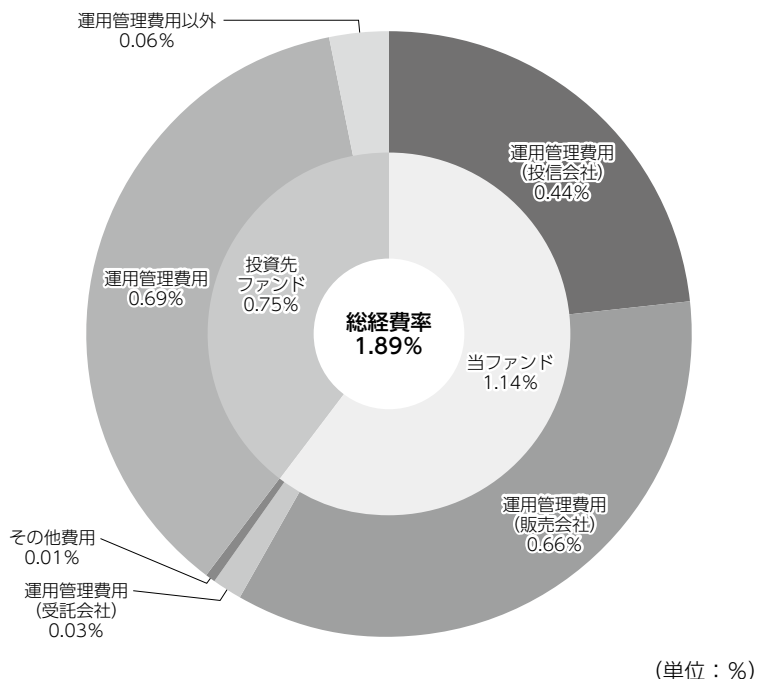
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.89%です。



<b>総経費率 (①+②+③)</b>	<b>1.89</b>
①当ファンドの費用の比率	1.14
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.69
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2022年11月18日～2023年5月17日）

投資信託証券

銘柄		第 124 期 ～ 第 129 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	アジア・ハイ・イールド債券ファンドF （為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	口	千円	口	千円
		—	—	526, 217, 332	579, 000
	合 計	—	—	526, 217, 332	579, 000
外国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	シュローダー・インターナショナル・ セレクション・ファンドーアジアCB （Cクラス（米ドル建て））	—	—	1, 417	230
	小 計	—	—	1, 417	230

（注）金額は受渡代金。

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2022年11月18日～2023年5月17日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2023年5月17日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第 123 期 末	第 129 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
アジア・ハイ・イールド債券ファンドF （為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）		口	口	千円	%
		7, 605, 136, 497	7, 078, 919, 165	7, 595, 680	85. 6
合 計		7, 605, 136, 497	7, 078, 919, 165	7, 595, 680	85. 6

（注）比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。



ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘柄	第 123 期 末	第 129 期 末		比 率	
	口 数	口 数	評 価 額		
			外 貨 建 金 額		邦 貨 換 算 金 額
(アメリカ) シュローダー・インターナショナル・ セレクション・ファンドーアジアCB (Cクラス(米ドル建て))	50,752	49,334	7,866 千米ドル	1,073,716 千円	12.1%
合 計	50,752	49,334	7,866	1,073,716	12.1%

(注) 邦貨換算金額は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年5月17日現在)

項 目	第 129 期 末	比 率
	評 価 額	
投 資 信 託 受 益 証 券	7,595,680 千円	85.0%
投 資 証 券	1,073,716	12.0%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	262,668	3.0%
投 資 信 託 財 産 総 額	8,932,064	100.0%

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 作成期間末における外貨建純資産（1,073,716千円）の投資信託財産総額（8,932,064千円）に対する比率は12.0%です。

(注) 外貨建資産は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=136.49円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第124期末	第125期末	第126期末	第127期末	第128期末	第129期末
	2022年12月19日現在	2023年1月17日現在	2023年2月17日現在	2023年3月17日現在	2023年4月17日現在	2023年5月17日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	9,567,312,429	9,317,514,426	9,604,872,178	9,273,808,977	9,262,417,163	8,932,064,932
コール・ローン等	262,533,623	275,064,809	241,996,803	278,420,588	295,153,497	262,667,824
投資信託受益証券(評価額)	8,231,753,808	7,990,873,648	8,273,552,188	7,930,270,836	7,864,173,905	7,595,680,264
投資証券(評価額)	1,073,024,998	1,051,575,969	1,089,323,187	1,065,117,553	1,103,089,761	1,073,716,844
(B) 負債	54,454,663	47,773,556	64,157,256	62,495,731	52,182,725	55,313,109
未払収益分配金	27,503,261	27,218,638	26,846,050	26,604,993	26,452,901	26,062,176
未払解約金	17,453,555	12,051,739	28,137,167	27,517,217	16,919,691	20,707,411
未払信託報酬	9,387,350	8,404,178	9,067,449	8,276,108	8,707,590	8,443,909
未払利息	341	332	166	281	303	327
その他未払費用	110,156	98,669	106,424	97,132	102,240	99,286
(C) 純資産総額(A－B)	9,512,857,766	9,269,740,870	9,540,714,922	9,211,313,246	9,210,234,438	8,876,751,823
元本	13,751,630,718	13,609,319,342	13,423,025,225	13,302,496,831	13,226,450,974	13,031,088,337
次期繰越損益金	△ 4,238,772,952	△ 4,339,578,472	△ 3,882,310,303	△ 4,091,183,585	△ 4,016,216,536	△ 4,154,336,514
(D) 受益権総口数	13,751,630,718口	13,609,319,342口	13,423,025,225口	13,302,496,831口	13,226,450,974口	13,031,088,337口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,918円	6,811円	7,108円	6,924円	6,963円	6,812円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第124期4,238,772,952円、第125期4,339,578,472円、第126期3,882,310,303円、第127期4,091,183,585円、第128期4,016,216,536円、第129期4,154,336,514円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、第124期0.6918円、第125期0.6811円、第126期0.7108円、第127期0.6924円、第128期0.6963円、第129期0.6812円です。

(注) 当ファンドの第124期首元本額は14,052,886,836円、第124～129期中追加設定元本額は236,659,621円、第124～129期中一部解約元本額は1,258,458,120円です。

○損益の状況

項 目	第124期	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期
	2022年11月18日～ 2022年12月19日	2022年12月20日～ 2023年1月17日	2023年1月18日～ 2023年2月17日	2023年2月18日～ 2023年3月17日	2023年3月18日～ 2023年4月17日	2023年4月18日～ 2023年5月17日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	35,861,804	57,511,193	36,513,357	38,287,707	42,764,713	38,362,848
受取配当金	35,872,495	57,518,354	36,520,408	38,292,105	42,771,166	38,370,755
受取利息	-	-	86	277	326	-
支払利息	△ 10,691	△ 7,161	△ 7,137	△ 4,675	△ 6,779	△ 7,907
(B) 有価証券売買損益	342,574,818	△ 166,580,095	396,525,875	△ 247,162,308	44,089,893	△ 201,429,009
売買益	371,462,094	41,724,037	411,010,829	833,743	45,614,828	21,794,465
売買損	△ 28,887,276	△ 208,304,132	△ 14,484,954	△ 247,996,051	△ 1,524,935	△ 223,223,474
(C) 信託報酬等	△ 9,498,205	△ 8,503,396	△ 9,174,505	△ 8,373,684	△ 8,810,639	△ 8,543,722
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	368,938,417	△ 117,572,298	423,864,727	△ 217,248,285	78,043,967	△ 171,609,883
(E) 前期繰越損益金	△ 1,721,081,395	△ 1,364,736,528	△ 1,482,262,917	△ 1,072,886,795	△ 1,297,798,901	△ 1,227,193,105
(F) 追加信託差損益金	△ 2,859,126,713	△ 2,830,051,008	△ 2,797,066,063	△ 2,774,443,512	△ 2,770,008,701	△ 2,729,471,350
(配当等相当額)	( 390,063,853)	( 386,154,391)	( 382,421,182)	( 379,806,155)	( 380,889,169)	( 375,373,265)
(売買損益相当額)	(△ 3,249,190,566)	(△ 3,216,205,399)	(△ 3,179,487,245)	(△ 3,154,249,667)	(△ 3,150,897,870)	(△ 3,104,844,615)
(G) 計 (D + E + F)	△ 4,211,269,691	△ 4,312,359,834	△ 3,855,464,253	△ 4,064,578,592	△ 3,989,763,635	△ 4,128,274,338
(H) 収益分配金	△ 27,503,261	△ 27,218,638	△ 26,846,050	△ 26,604,993	△ 26,452,901	△ 26,062,176
次期繰越損益金 (G + H)	△ 4,238,772,952	△ 4,339,578,472	△ 3,882,310,303	△ 4,091,183,585	△ 4,016,216,536	△ 4,154,336,514
追加信託差損益金	△ 2,859,126,713	△ 2,830,051,008	△ 2,797,066,063	△ 2,774,443,512	△ 2,770,008,701	△ 2,729,471,350
(配当等相当額)	( 390,063,853)	( 386,154,391)	( 382,421,182)	( 379,806,155)	( 380,889,169)	( 375,373,265)
(売買損益相当額)	(△ 3,249,190,566)	(△ 3,216,205,399)	(△ 3,179,487,245)	(△ 3,154,249,667)	(△ 3,150,897,870)	(△ 3,104,844,615)
分配準備積立金	344,321,866	362,620,736	365,223,160	364,615,511	371,651,868	370,048,628
繰越損益金	△ 1,723,968,105	△ 1,872,148,200	△ 1,450,467,400	△ 1,681,355,584	△ 1,617,859,703	△ 1,794,913,792

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第124期	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期
(a) 配当等収益(費用控除後)	34,961,374円	49,007,797円	35,739,946円	29,914,023円	38,426,354円	29,819,126円
(b) 有価証券等損益額 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	390,063,853円	386,154,391円	382,421,182円	379,806,155円	380,889,169円	375,373,265円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	336,863,753円	340,831,577円	356,329,264円	361,306,481円	359,678,415円	366,291,678円
分配対象収益(a + b + c + d)	761,888,980円	775,993,765円	774,490,392円	771,026,659円	778,993,938円	771,484,069円
分配対象収益(1万口当たり)	554円	570円	576円	579円	588円	592円
分配金額	27,503,261円	27,218,638円	26,846,050円	26,604,993円	26,452,901円	26,062,176円
分配金額(1万口当たり)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

## ○分配金のお知らせ

	第124期	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期
1万口当たり分配金（税引前）	20円	20円	20円	20円	20円	20円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。					
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店					

### <お知らせ>

該当事項はございません。

# アジア・ハイ・イールド債券ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用) 運用報告書(全体版)

第132期(決算日:2022年12月9日) 第135期(決算日:2023年3月9日)  
第133期(決算日:2023年1月10日) 第136期(決算日:2023年4月10日)  
第134期(決算日:2023年2月9日) 第137期(決算日:2023年5月9日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)」は、去る5月9日に第137期の決算を行いました。  
当ファンドはアジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的とします。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## 当該投資信託の概要と仕組み

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じ、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつこの投資信託にかかる信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要投資 (運用)対象	当ファンド	GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	アジア諸国 <sup>※1</sup> の高利回り社債 <sup>※2</sup> および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とします。 <small>※1アジア諸国とは、運用委託先がそれに該当すると判断する国(日本を除きます。)をいいます。 ※2高利回り社債とは、当該社債の格付けが、BB+格(S&amp;P社による格付け)またはBa1格(ムーディーズ社による格付け)以下のものをいいます。</small>
組入制限および 運用方法	当ファンド	ファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて運用を行います。外貨建資産については、為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクを抑えます。株式への実質投資割合は、純資産総額の30%以下とします。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
	マザーファンド	アジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象として運用を行います。米ドル建ての債券に主として投資します。また、建値がアジア諸国の現地通貨である債券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%を上限とします。株式への投資割合は、純資産総額の30%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。為替ヘッジは行いません。
分配方針	決算日(原則毎月9日)に基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

(注)当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注)「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)」は「アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

<お問い合わせ先>

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

ホームページアドレス [am.jpmorgan.com/jp](http://am.jpmorgan.com/jp)

TEL 03-6736-2350 (受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6432 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号 東京ビルディング

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落					
	円		円		%		%	百万円	
108期(2020年12月9日)	7,819		40		1.6	95.1	—	1,030	
109期(2021年1月12日)	7,783		46		0.1	94.2	—	1,020	
110期(2021年2月9日)	7,751		36		0.1	96.4	—	1,003	
111期(2021年3月9日)	7,699		36	△	0.2	97.3	—	979	
112期(2021年4月9日)	7,746		42		1.2	96.0	—	985	
113期(2021年5月10日)	7,694		38	△	0.2	94.5	—	978	
114期(2021年6月9日)	7,671		38		0.2	94.1	—	956	
115期(2021年7月9日)	7,581		37	△	0.7	95.0	—	945	
116期(2021年8月10日)	7,494		38	△	0.6	92.7	—	919	
117期(2021年9月9日)	7,509		35		0.7	95.0	—	904	
118期(2021年10月11日)	6,999		37	△	6.3	96.3	—	843	
119期(2021年11月9日)	6,590		34	△	5.4	96.9	—	738	
120期(2021年12月9日)	6,757		33		3.0	94.6	—	757	
121期(2022年1月11日)	6,602		35	△	1.8	93.0	—	770	
122期(2022年2月9日)	6,430		29	△	2.2	93.5	—	756	
123期(2022年3月9日)	5,997		29	△	6.3	94.7	—	727	
124期(2022年4月11日)	6,236		35		4.6	102.5	—	754	
125期(2022年5月9日)	6,122		29	△	1.4	99.9	—	737	
126期(2022年6月9日)	6,000		29	△	1.5	97.9	—	702	
127期(2022年7月11日)	5,570		31	△	6.7	94.3	—	670	
128期(2022年8月9日)	5,510		25	△	0.6	90.9	—	655	
129期(2022年9月9日)	5,585		28		1.9	99.2	—	671	
130期(2022年10月11日)	5,395		27	△	2.9	93.3	—	658	
131期(2022年11月9日)	5,021		24	△	6.5	90.9	—	626	
132期(2022年12月9日)	5,508		23		10.2	88.9	—	701	
133期(2023年1月10日)	5,718		40		4.5	91.7	—	727	
134期(2023年2月9日)	5,780		26		1.5	94.1	—	722	
135期(2023年3月9日)	5,673		28	△	1.4	99.7	—	704	
136期(2023年4月10日)	5,529		30	△	2.0	92.4	—	680	
137期(2023年5月9日)	5,379		28	△	2.2	98.8	—	657	

(注)基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注)当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注)債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注)当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマーク・参考ベンチマークは記載しておりません(以下同)。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			騰	落			
第132期	(期 首) 2022年11月9日	円 5,021	% —		% 90.9		% —
	11月末	5,406	7.7		89.3		—
	(期 末) 2022年12月9日	5,531	10.2		88.9		—
第133期	(期 首) 2022年12月9日	5,508	—		88.9		—
	12月末	5,581	1.3		92.0		—
	(期 末) 2023年1月10日	5,758	4.5		91.7		—
第134期	(期 首) 2023年1月10日	5,718	—		91.7		—
	1月末	5,802	1.5		91.6		—
	(期 末) 2023年2月9日	5,806	1.5		94.1		—
第135期	(期 首) 2023年2月9日	5,780	—		94.1		—
	2月末	5,684	△ 1.7		98.9		—
	(期 末) 2023年3月9日	5,701	△ 1.4		99.7		—
第136期	(期 首) 2023年3月9日	5,673	—		99.7		—
	3月末	5,511	△ 2.9		93.4		—
	(期 末) 2023年4月10日	5,559	△ 2.0		92.4		—
第137期	(期 首) 2023年4月10日	5,529	—		92.4		—
	4月末	5,469	△ 1.1		96.2		—
	(期 末) 2023年5月9日	5,407	△ 2.2		98.8		—

(注) 期末基準価額は当該期の分配金込み、期首の基準価額は分配金落後です。また騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

## 投資環境

### ◎アジア・ハイ・イールド債券市場

アジア・ハイ・イールド債券市場は上昇しました。

- ◆作成期首から2023年2月初めにかけては、米国の金融政策を巡る動向が市場の変動要因となった中、中国では予想されていたよりも早いゼロコロナ政策の緩和や不動産規制における緩和のほか、中国の経済活動の顕著な回復や生産活動の正常化などを背景に、アジア・ハイ・イールド債券市場は上昇基調で推移しました。
- ◆その後は、堅調な米経済指標を背景に米国の債券利回りが上昇したことや、米国の地方銀行や欧州銀行を巡る懸念の広がりなどから投資家心理の悪化が見られました。一方、中国では1-3月期GDP(国内総生産)が予想を上回り、パンデミック以降の力強い経済回復が確認されたものの、ハイ・イールド債券市場については不動産開発企業の不調を背景にリスクセンチメントが後退しました。このような環境下、アジア・ハイ・イールド債券市場は作成期末にかけて下落基調で推移しました。

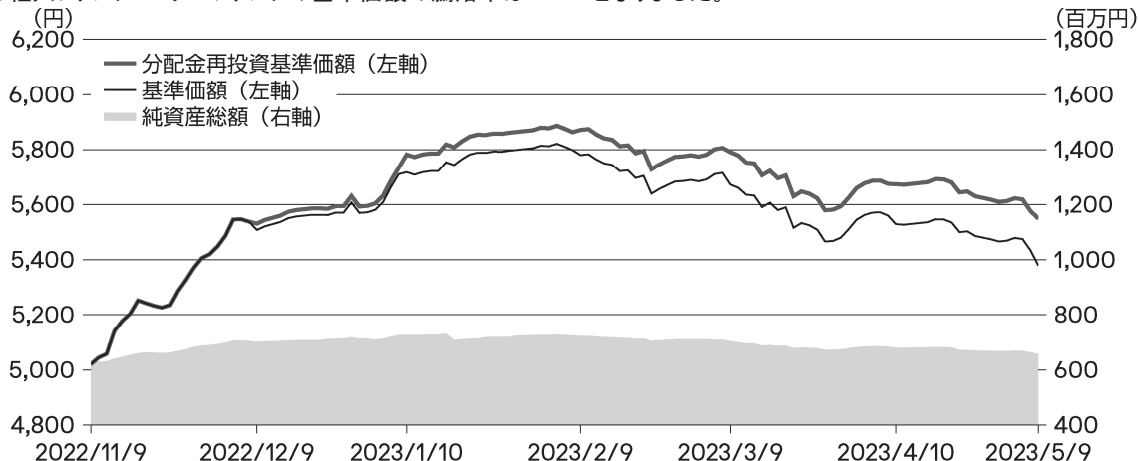
\* 市場の動向は、J.P. Morgan Asia Credit Index (JACI) Non-Investment Grade Corporate(米ドルベース)を使用しています。同指数はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

## 運用経過の説明

### ◎基準価額等の推移

○当ファンド: 基準価額(税引前分配金再投資)の騰落率は+10.5%となりました。

○組入ファンド: マザーファンドの基準価額の騰落率は+6.6%となりました。



(注) 基準価額は、信託報酬控除後です。分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後のもので、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです(以下同じ)。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません(以下同じ)。

(注) 分配金再投資基準価額はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。



## ◎基準価額の主な変動要因

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れた結果、マザーファンドにおいて、保有債券の価格上昇などがプラスに寄与し、基準価額を押し上げました。

## ◎ポートフォリオについて

### ○当ファンド

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れました。

### ○マザーファンド

様々な業種への分散投資を図りながら運用を行いました。作成期を通じて、国別では中国、業種別では金融への投資比率を高めに維持しました。

## ◎分配金

基準価額水準、市況動向等を勘案し、1万口当たりの分配金は当作成期合計で175円(税込)としました。留保益の運用については、委託会社の判断に基づき元本部分と同一の運用を行います。

## 今後の見通しと運用方針

### ◎今後の見通し

- ◆米国に関しては、金利上昇局面が終盤に差し掛かる中、金融引き締めの累積効果と時間差効果によって実体経済は減速しつつあり、今後インフレ率の低下や与信の厳格化が見込まれます。経済活動は金融引き締めによって引き続き減速し、利上げが停止した後、年後半にかけて利下げの可能性が高まると見えています。
- ◆中国に関しては、2023年1-3月期のGDP成長率は市場予想を上回る+4.5%と発表され、全国人民代表大会で掲げられた年間+5%の経済成長目標に早くも迫る結果となりました。ただし、若年層の高い失業率や上昇を続ける家計の貯蓄、および小売売上高の増加がピークを過ぎた可能性など、経済回復の基盤が堅固ではない点には注意が必要であると考えられます。また、共産党中央政治局は年内には大規模な景気刺激策を打ち出さないことを示唆しています。このような中で、魅力的なスプレッド水準にあると判断される新発債への投資機会に注目しています。

### ◎今後の運用方針

#### ○当ファンド

マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

#### ○マザーファンド

アジア各国(日本を除く)の企業が発行する高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2022年11月10日～2023年5月9日)

項 目	第132期～第137期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 19	% 0.349	(a) 信託報酬 = [当作成期中の平均基準価額] × 信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(18)	(0.327)	投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
( 販 売 会 社 )	( 0 )	(0.005)	販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価
( 受 託 会 社 )	( 1 )	(0.016)	受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(b) そ の 他 費 用	6	0.106	(b) その他費用 = $\frac{[当作成期中のその他費用]}{[当作成期中の平均受益権口数]}$
( 保 管 費 用 )	( 5 )	(0.095)	保管費用 外貨建資産の保管業務の対価として受託会社の委託先である保管銀行等に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	( 1 )	(0.011)	監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	25	0.455	
当作成期中の平均基準価額は、5,575円です。			

(注) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2022年11月10日～2023年5月9日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第132期～第137期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券	千口 40,435	千円 107,740	千口 38,512	千円 102,845

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2022年11月10日～2023年5月9日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2022年11月10日～2023年5月9日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2022年11月10日～2023年5月9日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2023年5月9日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第131期末		第137期末	
		口	数	口	数
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券			千口	千口	千円
			252,009	253,932	683,940

(注)口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(注)株式、新株予約権証券及び株式の性質を有するオプション証券等は組入れていません。

○投資信託財産の構成

(2023年5月9日現在)

項	目	第137期末	
		評 価 額	比 率
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券		千円	%
		683,940	99.2
コール・ローン等、その他		5,440	0.8
投資信託財産総額		689,380	100.0

(注)評価額の単位未満は切捨てです。なお、「コール・ローン等、その他」については投資信託財産総額から他の資産を差し引いた額を記載しています。

(注)アジア・ハイ・イールド債券マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(8,451,393千円)の投資信託財産総額(8,525,675千円)に対する比率は99.1%です。

(注)外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1米ドル＝135.33円、1ユーロ＝148.66円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第132期末	第133期末	第134期末	第135期末	第136期末	第137期末
	2022年12月9日現在	2023年1月10日現在	2023年2月9日現在	2023年3月9日現在	2023年4月10日現在	2023年5月9日現在
	円	円	円	円	円	円
<b>(A) 資産</b>	<b>1,371,216,944</b>	<b>2,933,866,739</b>	<b>3,028,678,616</b>	<b>1,487,236,557</b>	<b>1,368,856,399</b>	<b>1,394,088,395</b>
アジア・ハイ・イールド債券マ ザーファンド受益証券(評価額)	663,915,328	707,204,638	714,232,690	739,726,387	671,089,176	683,940,860
未収入金	707,301,616	2,226,662,101	2,314,445,926	747,510,170	697,767,223	710,147,535
<b>(B) 負債</b>	<b>669,936,370</b>	<b>2,206,852,321</b>	<b>2,305,984,066</b>	<b>782,817,648</b>	<b>688,264,719</b>	<b>736,789,736</b>
未払金	666,609,564	2,201,313,888	2,302,301,847	778,943,670	684,136,401	732,980,654
未払収益分配金	2,928,346	5,085,643	3,251,144	3,476,637	3,693,126	3,421,624
未払信託報酬	386,396	439,080	418,021	385,309	422,014	375,724
その他未払費用	12,064	13,710	13,054	12,032	13,178	11,734
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>701,280,574</b>	<b>727,014,418</b>	<b>722,694,550</b>	<b>704,418,909</b>	<b>680,591,680</b>	<b>657,298,659</b>
元本	1,273,193,990	1,271,410,916	1,250,440,356	1,241,656,098	1,231,042,132	1,222,008,708
次期繰越損益金	△ 571,913,416	△ 544,396,498	△ 527,745,806	△ 537,237,189	△ 550,450,452	△ 564,710,049
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,273,193,990口</b>	<b>1,271,410,916口</b>	<b>1,250,440,356口</b>	<b>1,241,656,098口</b>	<b>1,231,042,132口</b>	<b>1,222,008,708口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	5,508円	5,718円	5,780円	5,673円	5,529円	5,379円

<注記事項>

期首元本額	1,248,412,688円	1,273,193,990円	1,271,410,916円	1,250,440,356円	1,241,656,098円	1,231,042,132円
期中追加設定元本額	24,781,302円	7,190,365円	17,263,711円	0円	0円	0円
期中一部解約元本額	0円	8,973,439円	38,234,271円	8,784,258円	10,613,966円	9,033,424円
各期末における未払信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。						
未払受益者報酬	18,112円	20,582円	19,593円	18,062円	19,780円	17,614円
未払委託者報酬	368,284円	418,498円	398,428円	367,247円	402,234円	358,110円

## ○損益の状況

項 目	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
	2022年11月10日～ 2022年12月9日	2022年12月10日～ 2023年1月10日	2023年1月11日～ 2023年2月9日	2023年2月10日～ 2023年3月9日	2023年3月10日～ 2023年4月10日	2023年4月11日～ 2023年5月9日
	円	円	円	円	円	円
<b>(A) 有価証券売買損益</b>	<b>64,969,188</b>	<b>32,215,435</b>	<b>11,303,728</b>	<b>△ 9,181,537</b>	<b>△ 13,418,554</b>	<b>△ 14,490,078</b>
売買益	86,815,792	47,204,752	56,342,789	49,947,843	27,631,995	13,891,711
売買損	△ 21,846,604	△ 14,989,317	△ 45,039,063	△ 59,129,380	△ 41,050,549	△ 28,381,789
<b>(B) 信託報酬等</b>	<b>△ 531,247</b>	<b>△ 452,790</b>	<b>△ 510,767</b>	<b>△ 540,581</b>	<b>△ 693,921</b>	<b>△ 387,458</b>
<b>(C) 当期損益金(A+B)</b>	<b>64,437,941</b>	<b>31,762,645</b>	<b>10,792,959</b>	<b>△ 9,722,118</b>	<b>△ 14,112,475</b>	<b>△ 14,877,536</b>
<b>(D) 前期繰越損益金</b>	<b>△443,868,418</b>	<b>△379,607,187</b>	<b>△341,454,624</b>	<b>△331,354,935</b>	<b>△340,953,459</b>	<b>△355,333,689</b>
<b>(E) 追加信託差損益金</b>	<b>△189,554,593</b>	<b>△191,466,313</b>	<b>△193,832,997</b>	<b>△192,683,499</b>	<b>△191,691,392</b>	<b>△191,077,200</b>
(配当等相当額)	( 22,291,056)	( 22,226,601)	( 21,003,935)	( 20,674,598)	( 19,842,906)	( 18,904,722)
(売買損益相当額)	(△211,845,649)	(△213,692,914)	(△214,836,932)	(△213,358,097)	(△211,534,298)	(△209,981,922)
<b>(F) 計(C+D+E)</b>	<b>△568,985,070</b>	<b>△539,310,855</b>	<b>△524,494,662</b>	<b>△533,760,552</b>	<b>△546,757,326</b>	<b>△561,288,425</b>
<b>(G) 収益分配金</b>	<b>△ 2,928,346</b>	<b>△ 5,085,643</b>	<b>△ 3,251,144</b>	<b>△ 3,476,637</b>	<b>△ 3,693,126</b>	<b>△ 3,421,624</b>
<b>次期繰越損益金(F+G)</b>	<b>△571,913,416</b>	<b>△544,396,498</b>	<b>△527,745,806</b>	<b>△537,237,189</b>	<b>△550,450,452</b>	<b>△564,710,049</b>
追加信託差損益金	△189,627,198	△192,354,293	△194,046,661	△193,344,110	△192,489,815	△191,626,884
(配当等相当額)	( 22,257,766)	( 21,356,215)	( 20,820,863)	( 20,013,987)	( 19,044,483)	( 18,355,038)
(売買損益相当額)	(△211,884,964)	(△213,710,508)	(△214,867,524)	(△213,358,097)	(△211,534,298)	(△209,981,922)
繰越損益金	△382,286,218	△352,042,205	△333,699,145	△343,893,079	△357,960,637	△373,083,165

(注) 損益の状況の中で**(A)有価証券売買損益**は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で**(B)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で**(E)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第132期計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,855,741円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(22,330,371円)より分配対象収益は25,186,112円(10,000口当たり197円)であり、うち2,928,346円(10,000口当たり23円)を分配金額としております。

(注) 第133期計算期間末における費用控除後の配当等収益(4,197,663円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(22,244,195円)より分配対象収益は26,441,858円(10,000口当たり207円)であり、うち5,085,643円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。

(注) 第134期計算期間末における費用控除後の配当等収益(3,037,480円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(21,034,527円)より分配対象収益は24,072,007円(10,000口当たり192円)であり、うち3,251,144円(10,000口当たり26円)を分配金額としております。

(注) 第135期計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,816,026円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(20,674,598円)より分配対象収益は23,490,624円(10,000口当たり189円)であり、うち3,476,637円(10,000口当たり28円)を分配金額としております。

(注) 第136期計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,894,703円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(19,842,906円)より分配対象収益は22,737,609円(10,000口当たり184円)であり、うち3,693,126円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。

(注) 第137期計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,871,940円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(18,904,722円)より分配対象収益は21,776,662円(10,000口当たり178円)であり、うち3,421,624円(10,000口当たり28円)を分配金額としております。

(注) 各期における信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。

	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
受託者報酬	18,112円	20,582円	19,593円	18,062円	19,780円	17,614円
委託者報酬	368,284円	418,498円	398,428円	367,247円	402,234円	358,110円

## ○分配金のお知らせ

	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
1万円当たり分配金(税込み)	23円	40円	26円	28円	30円	28円

# アジア・ハイ・イールド債券ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) 運用報告書(全体版)

第132期(決算日:2022年12月9日) 第135期(決算日:2023年3月9日)  
第133期(決算日:2023年1月10日) 第136期(決算日:2023年4月10日)  
第134期(決算日:2023年2月9日) 第137期(決算日:2023年5月9日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」は、去る5月9日に第137期の決算を行いました。  
当ファンドはアジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的とします。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## 当該投資信託の概要と仕組み

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じ、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつこの投資信託にかかる信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要投資 (運用)対象	当ファンド	GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	アジア諸国 <sup>※1</sup> の高利回り社債 <sup>※2</sup> および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とします。 <small>※1アジア諸国とは、運用委託先がそれに該当すると判断する国(日本を除きます。)をいいます。 ※2高利回り社債とは、当該社債の格付けが、BB+格(S&amp;P社による格付け)またはBa1格(ムーディーズ社による格付け)以下のものをいいます。</small>
組入制限および 運用方法	当ファンド	ファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて運用を行います。為替ヘッジは行いません。株式への実質投資割合は、純資産総額の30%以下とします。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
	マザーファンド	アジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象として運用を行います。米ドル建ての債券に主として投資します。また、建値がアジア諸国の現地通貨である債券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%を上限とします。株式への投資割合は、純資産総額の30%以下とします。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。為替ヘッジは行いません。
配分方針	決算日(原則毎月9日)に基準価額水準、市況動向等を勘案して配分を行います。ただし、必ず配分を行うものではありません。	

(注) 当報告書における比率は、表示期末満四捨五入です。

(注) 「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)」は「アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

〈お問い合わせ先〉

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

ホームページアドレス [am.jpmorgan.com/jp](http://am.jpmorgan.com/jp)

TEL 03-6736-2350 (受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6432 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号 東京ビルディング

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落					
	円		円		%		%	百万円	
108期(2020年12月9日)	11,375		58		2.4	94.5	—	12,124	
109期(2021年1月12日)	11,346		66		0.3	94.2	—	11,951	
110期(2021年2月9日)	11,405		52		1.0	94.9	—	11,961	
111期(2021年3月9日)	11,765		53		3.6	93.9	—	12,166	
112期(2021年4月9日)	11,861		63		1.4	95.3	—	11,864	
113期(2021年5月10日)	11,725		59	△	0.6	95.4	—	11,707	
114期(2021年6月9日)	11,766		58		0.8	93.8	—	11,467	
115期(2021年7月9日)	11,681		56	△	0.2	94.6	—	11,077	
116期(2021年8月10日)	11,597		58	△	0.2	93.1	—	10,832	
117期(2021年9月9日)	11,612		53		0.6	94.5	—	10,716	
118期(2021年10月11日)	11,040		56	△	4.4	94.2	—	9,998	
119期(2021年11月9日)	10,502		53	△	4.4	95.0	—	9,061	
120期(2021年12月9日)	10,821		53		3.5	94.6	—	9,207	
121期(2022年1月11日)	10,724		56	△	0.4	91.7	—	9,125	
122期(2022年2月9日)	10,466		48	△	2.0	93.8	—	8,717	
123期(2022年3月9日)	9,800		46	△	5.9	93.9	—	7,949	
124期(2022年4月11日)	10,927		56		12.1	94.9	—	8,722	
125期(2022年5月9日)	11,301		49		3.9	94.1	—	8,762	
126期(2022年6月9日)	11,396		53		1.3	94.9	—	8,550	
127期(2022年7月11日)	10,771		57	△	5.0	91.5	—	7,966	
128期(2022年8月9日)	10,571		48	△	1.4	91.3	—	7,893	
129期(2022年9月9日)	11,446		53		8.8	91.8	—	8,629	
130期(2022年10月11日)	11,249		55	△	1.2	91.9	—	8,309	
131期(2022年11月9日)	10,524		49	△	6.0	90.0	—	7,908	
132期(2022年12月9日)	10,954		48		4.5	94.3	—	8,219	
133期(2023年1月10日)	11,019		78		1.3	95.0	—	8,134	
134期(2023年2月9日)	11,179		50		1.9	95.7	—	8,202	
135期(2023年3月9日)	11,473		53		3.1	95.4	—	8,326	
136期(2023年4月10日)	10,862		60	△	4.8	94.3	—	7,754	
137期(2023年5月9日)	10,842		54		0.3	95.5	—	7,725	

(注)基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注)当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注)債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注)当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマーク・参考ベンチマークは記載しておりません(以下同)。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			騰 落 率	騰 落 率			
第132期	(期 首) 2022年11月9日	円 10,524	% —	% —	% 90.0	% —	% —
	11月末	10,866	3.2	—	93.8	—	—
	(期 末) 2022年12月9日	11,002	4.5	—	94.3	—	—
第133期	(期 首) 2022年12月9日	10,954	—	—	94.3	—	—
	12月末	10,795	△1.5	—	95.0	—	—
	(期 末) 2023年1月10日	11,097	1.3	—	95.0	—	—
第134期	(期 首) 2023年1月10日	11,019	—	—	95.0	—	—
	1月末	11,108	0.8	—	94.1	—	—
	(期 末) 2023年2月9日	11,229	1.9	—	95.7	—	—
第135期	(期 首) 2023年2月9日	11,179	—	—	95.7	—	—
	2月末	11,415	2.1	—	95.3	—	—
	(期 末) 2023年3月9日	11,526	3.1	—	95.4	—	—
第136期	(期 首) 2023年3月9日	11,473	—	—	95.4	—	—
	3月末	10,884	△5.1	—	94.8	—	—
	(期 末) 2023年4月10日	10,922	△4.8	—	94.3	—	—
第137期	(期 首) 2023年4月10日	10,862	—	—	94.3	—	—
	4月末	10,901	0.4	—	94.0	—	—
	(期 末) 2023年5月9日	10,896	0.3	—	95.5	—	—

(注) 期末基準価額は当該期の分配金込み、期首の基準価額は分配金落後です。また騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。



## 投資環境

### ◎アジア・ハイ・イールド債券市場

アジア・ハイ・イールド債券市場は上昇しました。

- ◆作成期首から2023年2月初めにかけては、米国の金融政策を巡る動向が市場の変動要因となった中、中国では予想されていたよりも早いゼロコロナ政策の緩和や不動産規制における緩和のほか、中国の経済活動の顕著な回復や生産活動の正常化などを背景に、アジア・ハイ・イールド債券市場は上昇基調で推移しました。
- ◆その後は、堅調な米経済指標を背景に米国の債券利回りが上昇したことや、米国の地方銀行や欧州銀行を巡る懸念の広がりなどから投資家心理の悪化が見られました。一方、中国では1-3月期GDP(国内総生産)が予想を上回り、パンデミック以降の力強い経済回復が確認されたものの、ハイ・イールド債券市場については不動産開発企業の不調を背景にリスクセンチメントが後退しました。このような環境下、アジア・ハイ・イールド債券市場は作成期末にかけて下落基調で推移しました。

\* 市場の動向は、J.P. Morgan Asia Credit Index (JACI) Non-Investment Grade Corporate(米ドルベース)を使用しています。同指数はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

### ◎為替市況

為替市場では、米ドルが対円で下落しました。

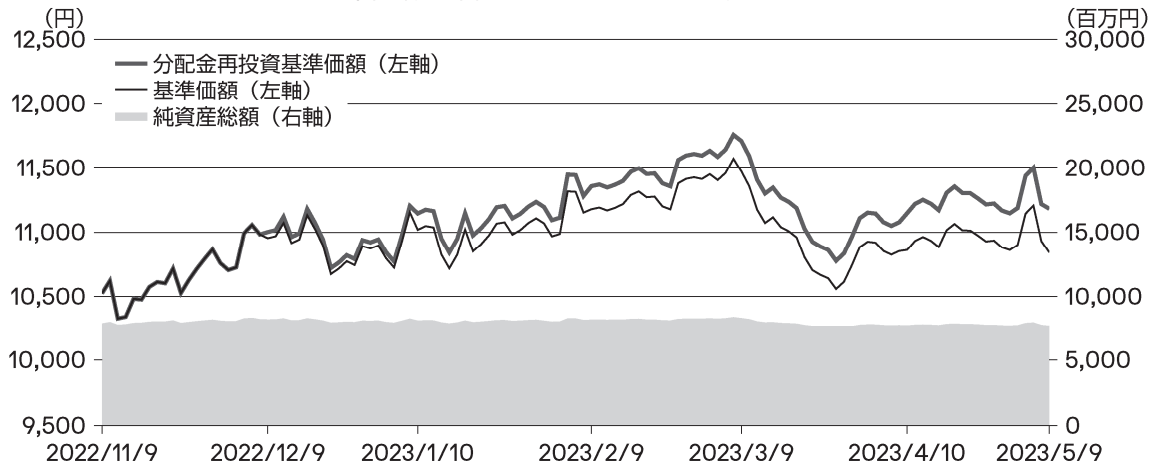
- ◆作成期首から1月中旬にかけては、日銀がイールドカーブ・コントロール(長短金利操作)の柔軟化措置を決めたことで許容変動幅が拡大し、利上げとして市場が受け止めたことや、米国のインフレがピークアウトしたとの観測が高まったことなどを背景に、米ドルは対円で下落しました。
- ◆1月中旬から作成期末にかけては、米雇用統計の発表を受けた米長期金利の上昇のほか、米銀行の破綻による金融システムへの不安や、日米における金融政策動向などが変動要因となり、変動性の高い展開となりました。

## 運用経過の説明

### ◎基準価額等の推移

○当ファンド: 基準価額(税引前分配金再投資)の騰落率は+6.3%となりました。

○組入ファンド: マザーファンドの基準価額の騰落率は+6.6%となりました。



(注) 基準価額は、信託報酬控除後です。分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後のもので、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです(以下同)。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません(以下同)。

(注) 分配金再投資基準価額はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

## ◎基準価額の主な変動要因

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れた結果、マザーファンドにおいて、米ドルが対円で下落したことはマイナスに寄与したものの、保有債券の価格上昇などがプラスに寄与し、基準価額を押し上げました。

## ◎ポートフォリオについて

### ○当ファンド

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れました。

### ○マザーファンド

様々な業種への分散投資を図りながら運用を行いました。作成期を通じて、国別では中国、業種別では金融への投資比率を高めに維持しました。

## ◎分配金

基準価額水準、市況動向等を勘案し、1万口当たりの分配金は当作成期合計で343円(税込)としました。留保益の運用については、委託会社の判断に基づき元本部分と同一の運用を行います。

## 今後の見通しと運用方針

### ◎今後の見通し

- ◆米国に関しては、金利上昇局面が終盤に差し掛かる中、金融引き締め の累積効果と時間差効果によって実体経済は減速しつつあり、今後インフレ率の低下や与信の厳格化が見込まれます。経済活動は金融引き締めによって引き続き減速し、利上げが停止した後、年後半にかけて利下げの可能性が高まると見えています。
- ◆中国に関しては、2023年1-3月期のGDP成長率は市場予想を上回る+4.5%と発表され、全国人民代表大会で掲げられた年間+5%の経済成長目標に早くも迫る結果となりました。ただし、若年層の高い失業率や上昇を続ける家計の貯蓄、および小売売上高の増加がピークを過ぎた可能性など、経済回復の基盤が堅固ではない点には注意が必要であると考えられます。また、共産党中央政治局は年内には大規模な景気刺激策を打ち出さないことを示唆しています。このような中で、魅力的なスプレッド水準にあると判断される新発債への投資機会に注目しています。

### ◎今後の運用方針

#### ○当ファンド

マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

#### ○マザーファンド

アジア各国(日本を除く)の企業が発行する高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2022年11月10日～2023年5月9日)

項 目	第132期～第137期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 38	% 0.349	(a) 信託報酬 = [当作成期中の平均基準価額] × 信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(36)	(0.327)	投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
( 販 売 会 社 )	( 1 )	(0.005)	販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.016)	受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.018	(b) その他費用 = $\frac{[当作成期中のその他費用]}{[当作成期中の平均受益権口数]}$
( 保 管 費 用 )	( 1 )	(0.007)	保管費用 外貨建資産の保管業務の対価として受託会社の委託先である保管銀行等に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	( 1 )	(0.011)	監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	40	0.367	
当作成期中の平均基準価額は、10,994円です。			

(注) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2022年11月10日～2023年5月9日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第132期～第137期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券	千口 37,875	千円 95,000	千口 301,228	千円 806,523

(注) 単位未満は切捨てです。

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年11月10日～2023年5月9日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2022年11月10日～2023年5月9日)

該当事項はございません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2022年11月10日～2023年5月9日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2023年5月9日現在)

### 親投資信託残高

銘	柄	第131期末		第137期末		
		口	数	口	数	評 価 額
			千口		千口	千円
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券			3,147,592		2,884,239	7,768,409

(注)口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(注)株式、新株予約権証券及び株式の性質を有するオプション証券等は組入れていません。

## ○投資信託財産の構成

(2023年5月9日現在)

項	目	第137期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券		7,768,409	100.0
投資信託財産総額		7,768,409	100.0

(注)評価額の単位未満は切捨てです。

(注)アジア・ハイ・イールド債券マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(8,451,393千円)の投資信託財産総額(8,525,675千円)に対する比率は99.1%です。

(注)外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1米ドル＝135.33円、1ユーロ＝148.66円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第132期末	第133期末	第134期末	第135期末	第136期末	第137期末
	2022年12月9日現在	2023年1月10日現在	2023年2月9日現在	2023年3月9日現在	2023年4月10日現在	2023年5月9日現在
	円	円	円	円	円	円
<b>(A) 資産</b>	<b>8,310,550,310</b>	<b>8,247,634,381</b>	<b>8,244,095,637</b>	<b>8,369,392,361</b>	<b>7,831,950,039</b>	<b>7,768,409,764</b>
アジア・ハイ・イールド債券マ ザーファンド受益証券(評価額)	8,260,550,311	8,197,634,382	8,244,095,637	8,369,392,361	7,801,950,039	7,768,409,764
未収入金	49,999,999	49,999,999	—	—	30,000,000	—
<b>(B) 負債</b>	<b>90,822,403</b>	<b>112,768,219</b>	<b>41,522,898</b>	<b>43,053,563</b>	<b>77,825,448</b>	<b>42,988,757</b>
未払収益分配金	36,018,841	57,583,901	36,687,694	38,464,124	42,833,191	38,476,047
未払解約金	49,999,999	49,999,999	—	—	30,000,000	—
未払信託報酬	4,658,011	5,027,229	4,688,693	4,450,375	4,840,984	4,375,971
その他未払費用	145,552	157,090	146,511	139,064	151,273	136,739
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>8,219,727,907</b>	<b>8,134,866,162</b>	<b>8,202,572,739</b>	<b>8,326,338,798</b>	<b>7,754,124,591</b>	<b>7,725,421,007</b>
元本	7,503,925,234	7,382,551,412	7,337,538,809	7,257,381,933	7,138,865,201	7,125,194,038
次期繰越損益金	715,802,673	752,314,750	865,033,930	1,068,956,865	615,259,390	600,226,969
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>7,503,925,234口</b>	<b>7,382,551,412口</b>	<b>7,337,538,809口</b>	<b>7,257,381,933口</b>	<b>7,138,865,201口</b>	<b>7,125,194,038口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	10,954円	11,019円	11,179円	11,473円	10,862円	10,842円

<注記事項>

期首元本額	7,514,233,286円	7,503,925,234円	7,382,551,412円	7,337,538,809円	7,257,381,933円	7,138,865,201円
期中追加設定元本額	90,903,211円	0円	0円	0円	0円	0円
期中一部解約元本額	101,211,263円	121,373,822円	45,012,603円	80,156,876円	118,516,732円	13,671,163円
各期末における未払信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。						
未払受益者報酬	218,346円	235,650円	219,782円	208,611円	226,922円	205,123円
未払委託者報酬	4,439,665円	4,791,579円	4,468,911円	4,241,764円	4,614,062円	4,170,848円

## ○損益の状況

項 目	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
	2022年11月10日～ 2022年12月9日	2022年12月10日～ 2023年1月10日	2023年1月11日～ 2023年2月9日	2023年2月10日～ 2023年3月9日	2023年3月10日～ 2023年4月10日	2023年4月11日～ 2023年5月9日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	363,718,532	110,858,262	158,828,943	256,426,248	△ 388,415,675	29,134,533
売買益	367,207,598	112,428,133	159,229,475	256,819,620	5,913,024	29,285,173
売買損	△ 3,489,066	△ 1,569,871	△ 400,534	△ 393,372	△ 394,328,699	△ 150,640
(B) 信託報酬等	△ 4,803,563	△ 5,184,319	△ 4,835,204	△ 4,589,439	△ 4,992,257	△ 4,512,710
(C) 当期損益金(A+B)	358,914,969	105,673,943	153,993,737	251,836,809	△ 393,407,932	24,621,823
(D) 前期繰越損益金	△2,050,201,313	△1,698,746,766	△1,630,181,761	△1,495,316,672	△1,259,820,647	△1,686,747,219
(E) 追加信託差損益金	2,443,107,858	2,402,971,474	2,377,909,648	2,350,900,852	2,311,321,160	2,300,828,412
(配当等相当額)	( 3,565,805,927)	( 3,507,809,592)	( 3,476,011,568)	( 3,437,006,954)	( 3,379,690,861)	( 3,367,152,228)
(売買損益相当額)	(△1,122,698,069)	(△1,104,838,118)	(△1,098,101,920)	(△1,086,106,102)	(△1,068,369,701)	(△1,066,323,816)
(F) 計(C+D+E)	751,821,514	809,898,651	901,721,624	1,107,420,989	658,092,581	638,703,016
(G) 収益分配金	△ 36,018,841	△ 57,583,901	△ 36,687,694	△ 38,464,124	△ 42,833,191	△ 38,476,047
次期繰越損益金(F+G)	715,802,673	752,314,750	865,033,930	1,068,956,865	615,259,390	600,226,969
追加信託差損益金	2,442,478,066	2,392,496,700	2,376,866,066	2,349,692,262	2,305,242,860	2,294,860,885
(配当等相当額)	( 3,565,480,523)	( 3,497,334,818)	( 3,474,967,986)	( 3,435,798,364)	( 3,373,612,561)	( 3,361,184,701)
(売買損益相当額)	(△1,123,002,457)	(△1,104,838,118)	(△1,098,101,920)	(△1,086,106,102)	(△1,068,369,701)	(△1,066,323,816)
繰越損益金	△1,726,675,393	△1,640,181,950	△1,511,832,136	△1,280,735,397	△1,689,983,470	△1,694,633,916

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(C)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第132期計算期間末における費用控除後の配当等収益(35,389,049円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(3,566,110,315円)より分配対象収益は3,601,499,364円(10,000口当たり4,799円)であり、うち36,018,841円(10,000口当たり48円)を分配金額としております。

(注) 第133期計算期間末における費用控除後の配当等収益(47,109,127円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(3,507,809,592円)より分配対象収益は3,554,918,719円(10,000口当たり4,815円)であり、うち57,583,901円(10,000口当たり78円)を分配金額としております。

(注) 第134期計算期間末における費用控除後の配当等収益(35,644,112円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(3,476,011,568円)より分配対象収益は3,511,655,680円(10,000口当たり4,785円)であり、うち36,687,694円(10,000口当たり50円)を分配金額としております。

(注) 第135期計算期間末における費用控除後の配当等収益(37,255,534円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(3,437,006,954円)より分配対象収益は3,474,262,488円(10,000口当たり4,787円)であり、うち38,464,124円(10,000口当たり53円)を分配金額としております。

(注) 第136期計算期間末における費用控除後の配当等収益(36,754,891円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(3,379,690,861円)より分配対象収益は3,416,445,752円(10,000口当たり4,785円)であり、うち42,833,191円(10,000口当たり60円)を分配金額としております。

(注) 第137期計算期間末における費用控除後の配当等収益(32,508,520円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(3,367,152,228円)より分配対象収益は3,399,660,748円(10,000口当たり4,771円)であり、うち38,476,047円(10,000口当たり54円)を分配金額としております。

(注) 各期における信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。

	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
受託者報酬	218,346円	235,650円	219,782円	208,611円	226,922円	205,123円
委託者報酬	4,439,665円	4,791,579円	4,468,911円	4,241,764円	4,614,062円	4,170,848円

## ○分配金のお知らせ

	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
1万円当たり分配金(税込み)	48円	78円	50円	53円	60円	54円

# GIMアジア・ハイ・イールド 債券マザーファンド (適格機関投資家専用)

## 第 23 期 運用報告書

(決算日:2023年5月9日)

(計算期間:2022年11月10日~2023年5月9日)

法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第23期の運用状況をご報告申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
運用方針	安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつこの投資信託にかかる信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	アジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、純資産総額の30%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

(注)当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注)「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)」は「アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	価額		債券 組入比	債券 先物比	純資 産総額
		騰落	率			
19期(2021年5月10日)	円 25,520		% 8.6	% 94.8	—	百万円 12,748
20期(2021年11月9日)	23,627	△	7.4	94.5	—	9,870
21期(2022年5月9日)	26,260		11.1	93.6	—	9,591
22期(2022年11月9日)	25,257	△	3.8	89.5	—	8,586
23期(2023年5月9日)	26,934		6.6	95.0	—	8,452

(注)債券先物比率は買建比率ー売建比率です。

(注)当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマーク・参考ベンチマークは記載しておりません(以下同じ)。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	価額		債券 組入比	債券 先物比	債券 率
		騰落	率			
(期首)	円		%	%	—	%
2022年11月9日	25,257		—	89.5	—	—
11月末	26,086		3.3	93.7	—	—
12月末	26,046		3.1	95.0	—	—
2023年1月末	27,008		6.9	94.0	—	—
2月末	27,893		10.4	95.3	—	—
3月末	26,736		5.9	94.7	—	—
4月末	26,940		6.7	93.9	—	—
(期末)						
2023年5月9日	26,934		6.6	95.0	—	—

(注)騰落率は期首比です。

(注)債券先物比率は買建比率ー売建比率です。

## 投資環境

### ◎アジア・ハイ・イールド債券市場

アジア・ハイ・イールド債券市場は上昇しました。

- ◆期首から2023年2月初めにかけては、米国の金融政策を巡る動向が市場の変動要因となった中、中国では予想されていたよりも早いゼロコロナ政策の緩和や不動産規制における緩和のほか、中国の経済活動の顕著な回復や生産活動の正常化などを背景に、アジア・ハイ・イールド債券市場は上昇基調で推移しました。
- ◆その後は、堅調な米経済指標を背景に米国の債券利回りが上昇したことや、米国の地方銀行や欧州銀行を巡る懸念の広がりなどから投資家心理の悪化が見られました。一方、中国では1-3月期GDP(国内総生産)が予想を上回り、パンデミック以降の力強い経済回復が確認されたものの、ハイ・イールド債券市場については不動産開発企業の不調を背景にリスクセンチメントが後退しました。このような環境下、アジア・ハイ・イールド債券市場は期末にかけて下落基調で推移しました。

\* 市場の動向は、J.P. Morgan Asia Credit Index (JACI) Non-Investment Grade Corporate(米ドルベース)を使用しています。同指数はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

### ◎為替市況

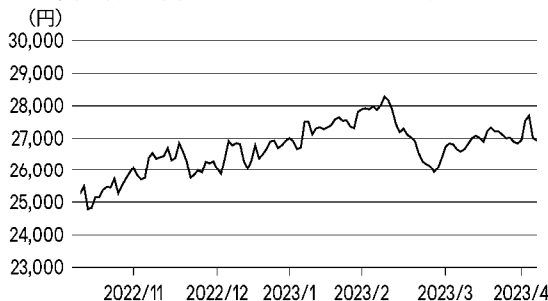
為替市場では、米ドルが対円で下落しました。

- ◆期首から1月中旬にかけては、日銀がイールドカーブ・コントロール(長短金利操作)の柔軟化措置を決めたことで許容変動幅が拡大し、利上げとして市場が受け止めたことや、米国のインフレがピークアウトしたとの観測が高まったことなどを背景に、米ドルは対円で下落しました。
- ◆1月中旬から期末にかけては、米雇用統計の発表を受けた米長期金利の上昇のほか、米銀行の破綻による金融システムへの不安や、日米における金融政策動向などが変動要因となり、変動性の高い展開となりました。

## 運用経過の説明

### ◎基準価額の推移

基準価額の騰落率は+6.6%となりました。



### ◎基準価額の主な変動要因

米ドルが対円で下落したことはマイナスに寄与したものの、保有債券の価格上昇などがプラスに寄与し、基準価額を押し上げました。

### ◎ポートフォリオについて

様々な業種への分散投資を図りながら運用を行いました。期を通じて、国別では中国、業種別では金融への投資比率を高め維持しました。



## 今後の見通しと運用方針

### ◎今後の見通し

- ◆米国に関しては、金利上昇局面が終盤に差し掛かる中、金融引き締めの累積効果と時間差効果によって实体经济は減速しつつあり、今後インフレ率の低下や与信の厳格化が見込まれます。経済活動は金融引き締めによって引き続き減速し、利上げが停止した後、年後半にかけて利下げの可能性が高まると見えています。
- ◆中国に関しては、2023年1-3月期のGDP成長率は市場予想を上回る+4.5%と発表され、全国人民代表大会で掲げられた年間+5%の経済成長目標に早くも迫る結果となりました。ただし、若年層の高い失業率や上昇を続ける家計の貯蓄、および小売売上高の増加がピークを過ぎた可能性など、経済回復の基盤が堅固ではない点には注意が必要であると考えられます。また、共産党中央政治局は年内には大規模な景気刺激策を打ち出さないことを示唆しています。このような中で、魅力的なスプレッド水準にあると判断される新発債への投資機会に注目しています。

### ◎今後の運用方針

アジア各国(日本を除く)の企業が発行する高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

### ○1万口当たりの費用明細

(2022年11月10日～2023年5月9日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用	2	0.007
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.007)
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)
合 計	2	0.007
期中の平均基準価額は、26,784円です。		

(注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ○売買及び取引の状況

(2022年11月10日～2023年5月9日)

## 公社債

		買付額		売付額	
外	アメリカ	千米ドル		千米ドル	
		国債証券	1,554		1,199
		特殊債券	1,638	3,967	(1,900)
国		社債券	19,693	14,369	(1,724)

(注)金額は受渡し代金です(経過利子分は含まれておりません)。なお、単位未満は切捨てです。

(注)社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

(注)下段に( )がある場合は一部償還金または利金の額面への追加・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注)外国の内訳は、国、地域名または取引市場を記載しております。

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年11月10日～2023年5月9日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2022年11月10日～2023年5月9日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2023年5月9日現在)

下記は、アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド全体(3,138,171千口)の内容です。

## 外国公社債

## (A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	額面金額	当 期		期 末		残存期間別組入比率		
		評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	5年以上	2年以上	2年未満
		外貨建金額	邦貨換算金額					
アメリカ	千米ドル 69,547	千米ドル 59,323	千円 8,028,311	% 95.0	% 77.8	% 32.9	% 33.7	% 28.5
合 計	69,547	59,323	8,028,311	95.0	77.8	32.9	33.7	28.5

(注)邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注)額面・評価額の単位未満は切捨てです。

(注)評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注)債券の格付については、原則としてS&amp;PまたはMoody'sが提供する格付を使用し、仕組み債等、格付の提供がなされていないものについては、委託会社による判断を基にしております。

なお、上記の格付機関が異なる格付を提供している場合は、低い方を採用しております。

(注)区分の内訳は、各証券の発行通貨の国、地域名または取引市場を記載しております。

## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄		当 期 末				償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
		%	千米ドル	千米ドル	千円		
アメリカ	国債証券	MONGOL 3.5% JUL27 REGS	3.5	200	163	22,160	2027/7/7
		MONGOL 8.65% JAN28 REGS	8.65	200	199	26,967	2028/1/19
	特殊債券	BANKNEGARAINDONESIA VAR	4.3	400	332	44,970	—
		HUARONG FIN 3.25% EMTN	3.25	500	464	62,848	2024/11/13
		HUARONG FIN 4.625% EMTN	4.625	400	349	47,240	2026/6/3
		HUARONG FIN 5% EMTN	5.0	1,100	999	135,203	2025/11/19
	普通社債券	ABJA INVESTMENT 5.45%	5.45	500	494	66,933	2028/1/24
		BANGKOK BANK VAR REGS	5.0	200	187	25,314	—
		BANK TABUNGAN 4.2%	4.2	1,500	1,416	191,643	2025/1/23
		BHARTI VAR REGS	5.65	1,100	1,059	143,414	—
		BK EAST ASIA VAR EMTN 4	5.825	1,800	1,572	212,789	—
		CAS CAPITAL VAR	4.0	1,500	1,226	165,922	—
		CENTRALPLAZADEV3.85%EMTN	3.85	400	349	47,337	2025/7/14
		CHAMPION PATH 4.85%	4.85	800	662	89,589	2028/1/27
		CHANPION PATH 4.5%	4.5	300	263	35,630	2026/1/27
		CHINA OIL&GAS 4.7%	4.7	800	669	90,588	2026/6/30
		CHONG HING BANK VAR EMTN	5.7	250	242	32,863	—
		CK HUTCHISON 3.375% REGS	3.375	500	376	50,978	2050/5/8
		CONTINUUM ENERGY4.5%REGS	4.5	930	831	112,542	2027/2/9
		COUNTRY GARDEN 5.125%	5.125	1,600	569	77,018	2027/1/14
		COUNTRY GARDEN 6.15%	6.15	2,100	977	132,243	2025/9/17
		COUNTRY GARDEN 7.25%	7.25	500	203	27,575	2026/4/8
		COUNTRY GARDEN 8%	8.0	200	152	20,581	2024/1/27
		ENNCLEANENERGY3.375%REGS	3.375	900	811	109,779	2026/5/12
		FRANSHION 4.25%	4.25	200	157	21,358	2029/7/23
		FWD GRP VAR EMTN	8.045	1,700	1,584	214,368	—
		FWD VAR 49	6.675	600	554	75,077	—
		GEMDALE 4.95% EMTN	4.95	500	452	61,232	2024/8/12
		GLOPM 4.2% VAR	4.2	700	648	87,717	—
		GLP CHINA 4.974% EMTN	4.974	1,300	1,053	142,579	2024/2/26
		GOHL CAPITAL 4.25%	4.25	400	375	50,842	2027/1/24
		GOLDEN EAGLE 4.625% REGS	4.625	2,000	1,982	268,248	2023/5/21
		GREENKO 3.85% REGS	3.85	376	338	45,772	2026/3/29
		GREENKO 4.3% REGS	4.3	191	165	22,399	2028/12/13
		GREENKO 5.5% REGS	5.5	700	667	90,334	2025/4/6
		GREENKO SOLAR 5.55% REGS	5.55	500	481	65,185	2025/1/29
		GREENTOWN CHINA 5.65%	5.65	500	462	62,618	2025/7/13
		HD FINANCE VAR	4.1	400	360	48,746	—
		HDFC BANK VAR REGS	3.7	500	426	57,752	—
		HOPSON DEVELOPMENT 7%	7.0	2,200	1,881	254,594	2024/5/18
	HPCL MITTAL ENERGY 5.25%	5.25	1,400	1,317	178,323	2027/4/28	
	HYUNDAI MOTAR 1.75% EMTN	1.75	200	179	24,268	2026/5/6	
	INDIA GREEN 5.375% REGS	5.375	1,200	1,168	158,178	2024/4/29	

銘柄	銘柄	当 期 末				償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		%	千米ドル	千米ドル	千円	
アメリカ	普通社債券					
	INDIA GREEN POWE 4% REGS	4.0	700	607	82,161	2027/2/22
	INDIACLEANENERGY4.5%REGS	4.5	200	161	21,831	2027/4/18
	INDIKA ENERGY 8.25% REGS	8.25	1,000	988	133,766	2025/10/22
	INDIKA ENERGY5.875% REGS	5.875	200	194	26,315	2024/11/9
	JSW INFRAST 4.95% REGS	4.95	900	775	104,952	2029/1/21
	JSW STEEL 3.95% REGS	3.95	600	526	71,259	2027/4/5
	JSW STEEL 5.375%	5.375	800	775	105,006	2025/4/4
	KOOKMIN BANK 2.5% REGS	2.5	250	205	27,859	2030/11/4
	KRUNG THAI BANK VAR	4.4	1,300	1,178	159,458	—
	LISTRINDO 4.95% REGS	4.95	900	851	115,196	2026/9/14
	LONGFOR 3.95%	3.95	200	148	20,080	2029/9/16
	LONGFOR 4.5%	4.5	200	164	22,236	2028/1/16
	MEDCO BELL 6.375% REGS	6.375	200	180	24,458	2027/1/30
	MEDCO PLATINUM6.75% REGS	6.75	1,600	1,555	210,467	2025/1/30
	MELCO RESORTS 5.75% REGS	5.75	400	344	46,677	2028/7/21
	MELCO RESORTS5.625% REGS	5.625	300	266	36,110	2027/7/17
	MGMCHINAHDGS 4.75% REGS	4.75	350	317	42,969	2027/2/1
	NEW METRO GLOBAL 4.5%	4.5	500	276	37,483	2026/5/2
	NEW METRO GLOBAL 4.625%	4.625	800	482	65,245	2025/10/15
	NEW METRO GLOBAL 4.8%	4.8	200	146	19,763	2024/12/15
	NWD FIN(BVI) VAR	4.125	1,300	957	129,601	—
	NWD MTN 4.125%	4.125	900	754	102,065	2029/7/18
	PERTAMINA GEO 5.15% REGS	5.15	200	201	27,303	2028/4/27
	PRUDENTIAL VAR 33 EMTN	2.95	300	255	34,513	2033/11/3
	PT ADARO 4.25% REGS	4.25	750	723	97,890	2024/10/31
	RIZAL COMMERCIAL BK VAR	6.5	1,900	1,699	229,933	—
	RKPF OVERSEAS 5.2%	5.2	1,000	523	70,777	2026/1/12
	RKPF OVERSEAS 6.7%	6.7	1,700	1,453	196,757	2024/9/30
	SANDS CHINA LTD VAR	5.9	1,900	1,825	247,014	2028/8/8
	SD IRON & STEEL 4.8%	4.8	800	772	104,494	2024/7/28
	SHUI ON DEV 5.5% 25	5.5	1,000	850	115,145	2025/3/3
	SHUI ON DEV 5.5% 26	5.5	200	154	20,956	2026/6/29
	SHUI ON DEV 6.15%	6.15	200	179	24,301	2024/8/24
	SMC GLOBAL POWER VAR 1	5.95	500	412	55,796	—
	SMC GLOBAL POWER VAR 4	7.0	650	532	72,066	—
	STUDIO CITY FIN 5% REGS	5.0	700	543	73,552	2029/1/15
	STUDIO CITY FIN 6% REGS	6.0	1,600	1,465	198,361	2025/7/15
	STUDIOCITY FIN 6.5% REGS	6.5	500	426	57,779	2028/1/15
	THAIOIL TRSRY 3.5% REGS	3.5	300	189	25,606	2049/10/17
	THAIOIL TRSRY 4.875% REG	4.875	200	160	21,758	2043/1/23
	TML HLDGS 5.5%	5.5	700	684	92,583	2024/6/3
	VANKE REAL 3.15% EMTN	3.15	200	187	25,333	2025/5/12
	VANKE REAL 3.975% EMTN	3.975	300	268	36,378	2027/11/9
	WEST CHINA CEMENT 4.95%	4.95	1,200	896	121,369	2026/7/8
	WYNN MACAU 5.5% REGS	5.5	1,000	925	125,293	2026/1/15

銘	柄	当 期 末				償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円	
	普通社債券	WYNN MACAU 5.625% REGS	1,900	1,642	222,255	2028/8/26
		YANLORD LAND 5.125%	400	334	45,320	2026/5/20
		YANLORD LAND 6.8%	750	730	98,825	2024/2/27
		YUNDA HOLDING2.25%	350	316	42,825	2025/8/19
		ZHONGSHENG 3%	300	276	37,413	2026/1/13
合	計	—	—	—	8,028,311	—

(注)邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注)額面・評価額の単位未満は切捨てです。なお、表示単位未満の場合は小数で記載しております。

(注)株式、新株予約権証券及び株式の性質を有するオプション証券等は組入れていません。

(注)銘柄の内訳は、各証券の発行通貨の国、地域名または取引市場を記載しております。

(注)償還年月日が—と表示されている銘柄は、永久債です。

## ○投資信託財産の構成

(2023年5月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 8,028,311	% 94.2
コール・ローン等、その他	497,364	5.8
投資信託財産総額	8,525,675	100.0

(注)評価額の単位未満は切捨てです。なお、「コール・ローン等、その他」については投資信託財産総額から他の資産を差し引いた額を記載しています。

(注)当期末における外貨建純資産(8,451,393千円)の投資信託財産総額(8,525,675千円)に対する比率は99.1%です。

(注)外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=135.33円、1ユーロ=148.66円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年5月9日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	8,572,471,655
コール・ローン等	376,427,761
公社債(評価額)	8,028,311,649
未収入金	46,796,500
未収利息	111,586,357
前払費用	9,349,388
(B) 負債	120,214,704
未払金	120,214,704
(C) 純資産総額(A-B)	8,452,256,951
元本	3,138,171,317
次期繰越損益金	5,314,085,634
(D) 受益権総口数	3,138,171,317口
1万口当たり基準価額(C/D)	26,934円

## &lt;注記事項&gt;

期首元本額	3,399,602,111円
期中追加設定元本額	78,310,851円
期中一部解約元本額	339,741,645円
元本の内訳	
アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	2,884,239,164円
アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	253,932,153円

## ○損益の状況 (2022年11月10日～2023年5月9日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	261,834,795
受取利息	261,716,697
その他収益金	118,098
(B) 有価証券売買損益	311,473,967
売買益	1,108,743,129
売買損	△ 797,269,162
(C) その他費用等	△ 652,420
(D) 当期損益金(A+B+C)	572,656,342
(E) 前期繰越損益金	5,186,627,254
(F) 追加信託差損益金	124,429,789
(G) 解約差損益金	△ 569,627,751
(H) 計(D+E+F+G)	5,314,085,634
次期繰越損益金(H)	5,314,085,634

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈参考情報〉

シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB

〈当ファンドの仕組みは次の通りです〉

シェアクラス	Cクラス (米ドル建て)
ファンドの形態	ルクセンブルク籍米ドル建て外国投資法人
運用会社	シュローダー・インベストメント・マネジメント (スイス) AG
投資対象	アジア (除く日本) 企業が発行する転換社債またはその他証券 (転換優先株、他社株転換可能債券など)
投資方針	アジア (除く日本) 企業が発行する転換社債に投資を行い、3年から5年の期間でベンチマークを上回る運用を行うことを目指します。
投資態度	①ファンドは、資産の少なくとも3分の2以上をアジア (除く日本) 企業が発行する転換社債またはその他証券 (転換優先株、他社株転換可能債券など) に投資を行い、積極的に運用を行います。 ②ファンドは、アジア (除く日本) 企業の発行する、固定利付債券、変動利付債券、株式、株式関連証券への投資を行う場合があります。転換社債は通常、転換価格にて株式に転換できる債券です。運用目標は、債券投資の安定的な収益と相対的にボラティリティの低い特性を持ちながら、アジア (除く日本) の株式市場への投資収益を享受することです。
ベンチマーク	リフィニティブ・アジア (除く日本) CBインデックス (米ドルヘッジ)
主な投資制限	①ファンドは資産の50%を超えて投資適格未滿の格付けの証券に投資する可能性があります。 ②ファンドは資産の最大3分の1を転換社債以外の証券に、直接的、間接的に投資を行うことがあります。 ③ファンドはデリバティブを活用する場合があります。
申込手数料	ありません。
運用報酬等	純資産総額×年率0.75%

シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCB

以下は、シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドーアジアCBの監査済報告書の一部を、岡三アセットマネジメントが翻訳したものです。岡三アセットマネジメントは正確性、完全性を保証するものではありません。

連結費用明細表および純資産変動明細書

自 2021年1月1日 至 2021年12月31日

期首純資産額	164,408,159
収益	
受取利息（源泉税控除）	1,563,057
収益合計	1,563,057
費用	
運用報酬	1,659,670
事務管理報酬	367,484
年次税	86,558
預託費用	14,702
代行手数料	188,096
銀行およびその他の支払利息	201
営業費用	78,818
費用合計	2,395,529
投資純損益	△ 832,472
実現損益	
売却取引	19,728,895
為替予約取引	△ 7,664,503
外貨取引	10,501
実現純損益	12,074,893
未実現損益	
投資有価証券	△ 20,707,344
為替予約取引	1,707,192
外貨取引	△ 44,515
未実現純損益	△ 19,044,667
運用による純資産の増加／減少額	△ 7,802,246
追加金	142,524,600
解約金	△134,080,356
資本金の増減による純資産の増加／減少額	8,444,244
期末純資産額	165,050,157



# Schedule of Investments as at 31 December 2021

## Schroder ISF Asian Convertible Bond

### Portfolio of Investments

Investments	Currency	Quantity/ Nominal Value	Market Value USD	% of Net Assets	Investments	Currency	Quantity/ Nominal Value	Market Value USD	% of Net Assets
<b>Transferable securities and money market instruments admitted to an official exchange listing</b>					<b>Financials</b>				
<b>Convertible Bonds</b>									
<b>Communication Services</b>									
Bharti Airtel Ltd., Reg. S 1.5% 17/02/2025	USD	3,833,000	4,996,316	3.03	Citigroup Global Markets Funding Luxembourg SCA, Reg. S 0% 28/05/2024	HKD	10,000,000	1,335,774	0.81
Kakao Corp., Reg. S 0% 28/04/2023	USD	2,800,000	3,392,200	2.06	Citigroup Global Markets Funding Luxembourg SCA, Reg. S 0% 25/07/2024	HKD	30,000,000	4,088,102	2.48
XD, Inc., Reg. S 1.25% 12/04/2026	USD	2,251,000	2,185,570	1.32	Eve Battery Investment Ltd., Reg. S 0.75% 22/11/2026	USD	1,750,000	1,997,188	1.21
			<b>10,574,086</b>	<b>6.41</b>	JPMorgan Chase Bank NA 0% 07/08/2022	USD	800,000	905,400	0.55
<b>Consumer Discretionary</b>									
ANLLIAN Capital Ltd., Reg. S 0% 05/02/2025	EUR	6,400,000	9,102,192	5.51	Universe Trek Ltd., Reg. S 2.5% 08/07/2025	USD	1,850,000	1,965,163	1.19
Bosideng International Holdings Ltd., Reg. S 1% 17/12/2024	USD	1,700,000	2,073,575	1.26	Universe Trek Ltd., Reg. S 0% 15/06/2026	USD	3,300,000	3,094,575	1.87
China Education Group Holdings Ltd., Reg. S 2% 28/03/2024	HKD	29,000,000	4,172,154	2.53				<b>13,386,202</b>	<b>8.11</b>
China Yuhua Education Corp. Ltd., Reg. S 0.9% 27/12/2024	HKD	21,000,000	2,499,503	1.51	<b>Health Care</b>				
Meituan, Reg. S 0% 27/04/2027	USD	6,000,000	5,695,500	3.45	Microport Scientific Corp., Reg. S 0% 11/06/2026	USD	3,700,000	3,074,700	1.86
Meituan, Reg. S 0% 27/04/2028	USD	5,200,000	4,860,700	2.94	Pharmaron Beijing Co. Ltd., Reg. S 0% 18/06/2026	USD	3,800,000	3,490,300	2.11
Tequ Mayflower Ltd., Reg. S 0% 02/03/2026	USD	1,961,000	1,629,101	0.99	Strategic International Group Ltd., Reg. S 0% 29/06/2025	EUR	1,115,000	1,183,318	0.72
Vinpearl JSC, Reg. S 3.25% 21/09/2026	USD	2,000,000	1,949,550	1.18	Sure First Ltd., Reg. S 2% 16/01/2025	USD	600,000	669,054	0.41
Zhongsheng Group Holdings Ltd., Reg. S 0% 21/05/2025	HKD	27,000,000	4,960,251	3.01	Viva Biotech Investment Management Ltd., Reg. S 1% 30/12/2025	USD	2,700,000	2,249,929	1.36
			<b>36,942,526</b>	<b>22.38</b>	WuXi AppTec Co. Ltd., Reg. S 0% 17/09/2024	USD	400,000	820,800	0.50
<b>Consumer Staples</b>									
ADM Ag Holding Ltd., Reg. S 0% 26/08/2023	USD	3,000,000	3,098,250	1.88				<b>11,488,101</b>	<b>6.96</b>
China Mengniu Dairy Co. Ltd., Reg. S 1.5% 24/06/2023	USD	500,000	597,250	0.36	<b>Industrials</b>				
Zhou Hei Ya International Holdings Co. Ltd., Reg. S 1% 05/11/2025	HKD	12,000,000	1,455,015	0.88	Cathay Pacific Finance III Ltd., Reg. S 2.75% 05/02/2026	HKD	44,000,000	5,530,430	3.35
			<b>5,150,515</b>	<b>3.12</b>	CIMC Enric Holdings Ltd., Reg. S 0% 30/11/2026	HKD	12,000,000	1,801,804	1.09
					Fine Perfection Investment Ltd., Reg. S 0% 17/04/2022	USD	1,682,000	1,683,262	1.02

The accompanying notes form an integral part of these financial statements.

# Schedule of Investments as at 31 December 2021

## Schroder ISF Asian Convertible Bond

### Portfolio of Investments (continued)

Investments	Currency	Quantity/ Nominal Value	Market Value USD	% of Net Assets	Investments	Currency	Quantity/ Nominal Value	Market Value USD	% of Net Assets
PB Issuer NO 5 Ltd., Reg. S 3% 10/12/2025	USD	1,009,000	1,512,996	0.92	Taiwan Cement Corp., Reg. S 0% 07/12/2026	USD	2,800,000	2,855,006	1.73
Singapore Airlines Ltd., Reg. S 1.625% 03/12/2025	SGD	6,250,000	4,997,913	3.03				12,220,427	7.40
Zhejiang Expressway Co. Ltd., Reg. S 0% 20/01/2026	EUR	1,600,000	1,951,378	1.18	<b>Real Estate</b>				
			<b>17,477,783</b>	<b>10.59</b>	ESR Cayman Ltd., Reg. S 1.5% 30/09/2025	USD	4,114,000	4,282,674	2.59
<b>Information Technology</b>					No. Va Land Investment Group Corp., Reg. S 5.25% 16/07/2026	USD	1,600,000	1,628,000	0.99
Globalwafers Co. Ltd., Reg. S 0% 01/06/2026	USD	5,400,000	5,794,011	3.51	Smart Insight International Ltd., Reg. S 4.5% 05/12/2023	HKD	24,000,000	3,076,607	1.86
Hon Hai Precision Industry Co. Ltd., Reg. S 0% 05/08/2026	USD	3,100,000	3,177,082	1.92	Vingroup JSC, Reg. S 3% 20/04/2026	USD	1,800,000	1,829,250	1.11
Kingsoft Corp. Ltd., Reg. S 0.625% 29/04/2025	HKD	30,000,000	4,614,142	2.80				<b>10,816,531</b>	<b>6.55</b>
Lenovo Group Ltd., Reg. S 3.375% 24/01/2024	USD	4,300,000	6,154,374	3.73	<b>Total Convertible Bonds</b>			<b>157,955,675</b>	<b>95.70</b>
LG Display Co. Ltd., Reg. S 1.5% 22/08/2024	USD	5,200,000	6,502,599	3.94	<b>Total Transferable securities and money market instruments admitted to an official exchange listing</b>			<b>157,955,675</b>	<b>95.70</b>
United Microelec- tronics Corp., Reg. S 0% 07/07/2026	USD	2,400,000	2,485,848	1.51	<b>Transferable securities and money market instruments dealt in on another regulated market</b>				
Weimob Investment Ltd., Reg. S 0% 07/06/2026	USD	1,693,000	1,356,940	0.82	<b>Convertible Bonds</b>				
Win Semiconductors Corp., Reg. S 0% 14/01/2026	USD	3,600,000	3,736,618	2.26	<b>Communication Services</b>				
Xero Investments Ltd., Reg. S 0% 02/12/2025	USD	1,126,000	1,114,740	0.68	Bilibili, Inc., 144A 0.5% 01/12/2026	USD	1,957,000	1,690,848	1.02
Xiaomi Best Time International Ltd., Reg. S 0% 17/12/2027	USD	2,800,000	2,703,400	1.64	Sea Ltd. 0.25% 15/09/2026	USD	750,000	690,000	0.42
Yageo Corp., Reg. S 0% 26/05/2025	USD	1,000,000	1,252,500	0.76				<b>2,380,848</b>	<b>1.44</b>
Zhen Ding Technology Holding Ltd., Reg. S 0% 30/06/2025	USD	1,000,000	1,007,250	0.61	<b>Consumer Discretionary</b>				
			<b>39,899,504</b>	<b>24.18</b>	Li Auto, Inc., 144A 0.25% 01/05/2028	USD	375,000	495,225	0.30
<b>Materials</b>					Pinduoduo, Inc. 0% 01/12/2025	USD	419,000	380,033	0.23
China Hongqiao Group Ltd., Reg. S 5.25% 25/01/2026	USD	2,000,000	2,541,500	1.54				<b>875,258</b>	<b>0.53</b>
POSCO, Reg. S 0% 01/09/2026	EUR	6,000,000	6,823,921	4.13	<b>Consumer Staples</b>				
					Fancl Corp., Reg. S 0% 18/04/2024	JPY	100,000,000	945,658	0.57
								<b>945,658</b>	<b>0.57</b>
					<b>Information Technology</b>				
					GDS Holdings Ltd. 2% 01/06/2025	USD	500,000	582,500	0.36
					Vnet Group, Inc., 144A 0% 01/02/2026	USD	600,000	483,000	0.29
								<b>1,065,500</b>	<b>0.65</b>
					<b>Total Convertible Bonds</b>			<b>5,267,264</b>	<b>3.19</b>
					<b>Total Transferable securities and money market instruments dealt in on another regulated market</b>			<b>5,267,264</b>	<b>3.19</b>

The accompanying notes form an integral part of these financial statements.

## Schedule of Investments as at 31 December 2021

### Schroder ISF Asian Convertible Bond

#### Portfolio of Investments (continued)

Investments	Quantity/ Currency Nominal Value	Market Value USD	% of Net Assets
Total Investments		163,222,939	98.89
Cash		849,402	0.51
Other assets/(liabilities)		977,816	0.60
<b>Total Net Assets</b>		<b>165,050,157</b>	<b>100.00</b>

The accompanying notes form an integral part of these financial statements.